

特集 茗溪創基 150 年

目次

- グラビア …… 01 ～ 02
- 2020 年度 茗溪会 広報等 年間行事計画 …… 03
- 定時総会開催のご案内 2020・2021 年度 茗溪会 代議員一覧 …… 04
- 定時総会開催のお知らせと参加のお願い …… 05
- 茗溪創基 150 年について …… 06 ～ 07
- 茗溪創基 150 年 記念事業実施報告 …… 08 ～ 13
- 茗溪創基 150 年 記念基金のこと …… 14
- 茗溪・筑波 FUND …… 15
- Peer Garden（交流広場） …… 16 ～ 17
- 茗溪・東西南北 …… 18
- 令和元年度 茗溪会賞受賞者紹介 …… 19
- 筑波大学は今 …… 20
- 2019 年度『茗溪フェロー』協力者ご芳名 …… 21
- 桐の葉のつどい …… 22
- 茗溪学園だより …… 23
- 追悼録 …… 24
- 令和元年 秋の叙勲おめでとうございます …… 25
- 広報 …… 25 ■ 表紙のことば …… 25 ■ 編集後記 …… 25

茗溪



春

2020

令和2年

no.1105



日本のバウムクーヘンの歴史は
ユーハイムから始まりました。



まっすぐなおいしさ

日本で初めてバウムクーヘンが焼かれたのは1919年(大正8年)のこと。
創始者カール・ユーハイムの焼きあげたバウムクーヘンへの想いは
今も変わらず、職人から職人に受け継がれています。

ユーハイム®

www.juchheim.co.jp/juchheim
〒650-0046 神戸市中央区港島中町7-7-4

お客様係 TEL 0120-860816

受付時間：平日(月～金) 9:30～17:00(年末年始を除く)
携帯電話・PHS からはご利用いただけません。

食の提供 (アウトソーシング)

社員食堂 / 寮・研修所・保養所・研究施設 /
学生食堂 / レジャーレストラン / カフェ

お仕事に、勉強にがんばる皆様を食事面からサポートいたします。
空間づくりなども含めた委託運営を行っています。



学生食堂

～学校ブランドを高める空間づくり～

学生の皆様にとって、大切な思い出の一つになる学生食堂。
学校それぞれの教育方針に沿って運営を行いながらも、
学生層に合わせ、トレンドを意識したメニューをご用意。
カジュアルさとおいしさで好評をいただいています。
また、売店の運営やスクールバスの運行など、トータルでの
サポートも可能です。

寮・研修所・保養所・研究施設

～やすらぎと栄養バランスを考えた食事提供～

各施設の運営方針やご利用者の年齢層に応じたメニューを
提供。栄養バランスを考慮した食事を提供するだけでなく、
研修施設では研修期間や日程などの利用状況に対応した運営を
心がけ、「食」を通じて家庭に在るような安らぎを提供すること
を目指しています。食事以外にも、施設管理全般にわたる管理
業務も行っています。



はぐくむ、大切なことのすべて

SHIDAX

シダックスフードサービス株式会社

〒160-0021 東京都新宿区歌舞伎町1-17-10 シダックス新宿セントラルロード
TEL.03-6632-5052 (代表)

KAIT

力と自信がつく教育で 「考え、行動する人材」を育成します。

■工学部

機械工学科(航空宇宙学専攻含む)
電気電子情報工学科
応用化学科
臨床工学科(臨床工学技士養成課程)※

■創造工学部

自動車システム開発工学科
ロボット・メカトロニクス学科
ホームエレクトロニクス開発学科

■応用バイオ科学部

応用バイオ科学科
栄養生命科学科(管理栄養士養成課程)※

■情報学部

情報工学科
情報ネットワーク・コミュニケーション学科
情報メディア学科

■看護学部

看護学科(看護師養成課程)※

※2020年度に新学部への再編を構想中

常務理事 河野 隆二(S47農)

教職センター 大畑多津雄(S52理 数)(神奈川茗溪会会長)

教職センター 望月 正大(S51理 数)(同 副会長)

早期学生支援室 掛原 豊(S54農林学類)

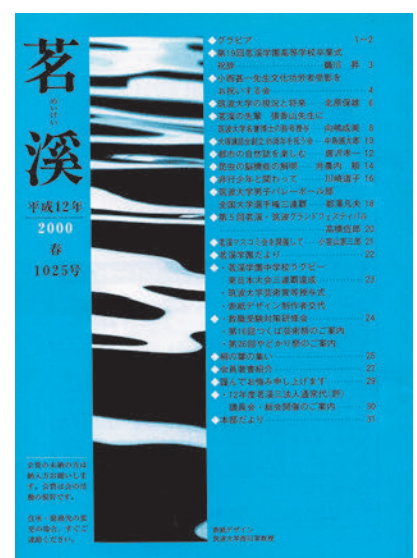
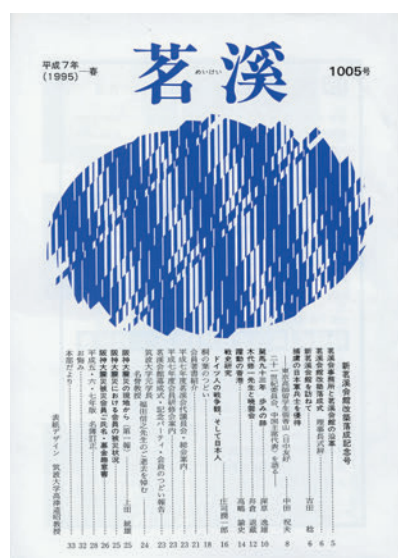
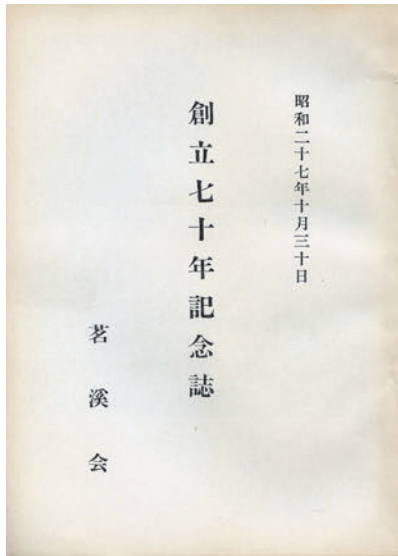


神奈川工科大学
KANAGAWA INSTITUTE OF TECHNOLOGY

〒243-0292 神奈川県厚木市下荻野1030
TEL.046-291-3002 URL:http://www.kait.jp/

「茗溪」装丁の変遷

1965 年（871 号）～ 2000 年（1025 号）



令和元年度 茗溪会賞 芸術部門受賞者



玉置 晨作さん 推薦者 **大原 央聡先生**
(彫塑コース)

【手】



【論文】

「大分県津久見市における
みかん小屋の分布と建築的特性」



水畑 日南子さん 推薦者 **橋本 剛先生**
(環境デザイン領域)



戴 飴霏さん 推薦者 **田島 直樹先生**
(洋画(版画)領域)



【途中にいる】

2020年度 一般社団法人茗溪会 公益・共益・広報等 年間行事計画

1. 公益事業

(1) 公開講座

① 東京地区

「未定」 講師：未定

日時：未定

会場：未定

② つくば地区

「英語シリーズ」第19弾 講師：藤原保明 先生

日時：2020年6月予定

会場：未定

* 公開講座の報告（概要）等は、季刊誌「茗溪」に掲載の予定。

* 地域組織等が主催する公開講座、講演会の共催・助成も行う。

(2) 顕彰（第19回）

- ① 対象 筑波大学の教育・研究活動の内容を、社会に対して分かりやすく伝えるアウトリーチ活動等に従事し、大学院における勉学や研究の成果を生かした顕著な社会貢献活動を行った修了者（1年以内に修了した者を含む）並びに優秀な作品を制作した芸術専門学群の学生等とする。

② 対象者の選定

各専攻修了者の中から専攻長が推薦する大学院生等について、学内に置かれた選考委員会で選考した結果について、理事長の承認を得る。

- ③ 授与方法 各専攻の学位記授与式において専攻長より「茗溪会賞」（顕彰状及び副賞）を授与する。

* 顕彰者及びその活動内容については、季刊誌「茗溪」に掲載する。

2. 共益事業

筑波大学生活動等への支援強化、会員の世代間や各地域組織等をつなぐ活動の充実強化、会員相互の交流の推進等を図る。

(1) 「追悼のつどい」の開催

脱宗派として開催し、遺族、関係者を招き、逝去された会員等の遺徳を偲ぶ。

期日：2020年9月5日（土）予定

会場：茗溪会館

- (2) 学生の就職活動を支援するため、大学が開催する各種講座への情報提供及び協力。

- (3) 年始と暑中見舞いの時期に合わせて、会員間の交流を深めるための広告を季刊誌「茗溪」に掲載。

3. 広報事業

(1) 季刊誌「茗溪」の発行

季刊誌の発行は年4回とし、特集記事、筑波大学関連の記事、会員情報等を中心に内容の充実に努める。

なお、季刊誌「茗溪」の配布先は4回とも正会員のみとし、春号と秋号の配布に際しては筑波大学新聞を同封する。

(2) 茗溪会HP掲載内容等の充実

茗溪会HPでは、季刊誌「茗溪」を再掲するほか、茗溪会主催の公開講座の情報、各地域組織の活動状況、企業人の集まりの情報、筑波大学関連の各種情報等をスピーディに掲載し、季刊誌「茗溪」と併せて、会員相互の連携を深めるためのツールとして、一層の充実を図る。

一般社団法人 茗溪会(第九回)

2020年度 定時総会開催のご案内

※日 時：2020年5月30日(土) 午後1時30分から

※場 所：茗溪会館二階「茗溪」の間

※議 題：2019年度事業報告、決算報告、2020年度事業計画(案)、予算(案)。

2020・2021年度 一般社団法人茗溪会 代 議 員 一 覧

推薦地域組織	姓 名	卒年卒科・群	推薦地域組織	姓 名	卒年卒科・群	推薦地域組織	姓 名	卒年卒科・群
筑波大	仏山 輝美	平3 筑修芸	東 京	田中 修	昭54筑二農	静 岡	小川 伸吾	昭60筑一人文
筑波大	田嶋 直樹	平9 筑修芸	東 京	渡邊 悟	昭62筑博農	静 岡	大塚 玲	昭63筑博心障
北海道	川口 淳	昭58筑修教	東 京	三橋 浩志	昭63筑一自	愛 知	村松 利之	昭53筑体
青 森	前田 済	昭59筑一自	東 京	高橋 誠	昭42教大心	愛 知	竹下 裕隆	昭56筑一社会
岩 手	佐藤 有	昭58筑二農	東 京	桜井 裕	昭49教大法政	愛 知	蟹江 吉弘	昭61筑一人文
宮 城	土生 善弘	昭62筑体	東 京	柳 久美子	昭50教大体	岐 阜	鈴木 健	昭59筑二生
秋 田	木浪 恒二	昭58筑体	東 京	飯島 睦子	昭54筑二人間	三 重	岡村 芳成	昭62筑一自
山 形	津田 浩	昭58筑一自	東 京	浅井 一郎	昭55筑一人文	滋 賀	脇坂 高峰	昭56筑体
福 島	大沼 博文	昭56筑二人間	東 京	海老沢敬子	昭62筑二農	京 都	三橋 利彦	昭58筑体
茨 城	郡司 丈児	昭53筑一人文	東 京	徳田 安伸	昭55筑二農	大 阪	松本 秀範	昭53院修林
茨 城	高瀬 宏樹	昭55筑一自	東 京	金田 喜明	昭56筑一人文	大 阪	岡村多加志	昭55筑一自
茨 城	鈴木 一弘	昭58筑修教	東 京	竹村 恭一	昭56筑一自	兵 庫	升川 清則	昭59筑体
茨 城	中島 博司	昭57筑一人文	東 京	笹 のぶえ	昭56筑二比	奈 良	谷垣 康	昭53筑一人文
茨 城	高村 祐一	昭61筑一人文	東 京	久保 淳	昭56筑体	和 歌 山	川久保尚志	昭62筑二生
茨 城	中根 一明	昭56筑三社工	東 京	塩津 真	昭57筑二人間	鳥 取	小倉 健一	昭53筑体
茨 城	海老原 健	平3 筑三社工	東 京	松村 直樹	昭61筑修環	鳥 根	野々村 卓	昭58筑一人文
栃 木	青木 茂実	昭59筑一人文	東 京	真当 哲博	昭57筑二人間	岡 山	長尾 隆史	昭55筑体
栃 木	荒井 光弘	昭59筑一社会	神 奈 川	佐々木悦子	昭46教大体	広 島	大辻 明	昭47教大体
群 馬	高田 博基	昭60筑体	神 奈 川	大畑多津雄	昭52教大数	山 口	吉本 晃	昭54筑二人間
群 馬	丸橋 覚	昭63筑修教	神 奈 川	山崎 紀彦	昭53院修農経	徳 島	安永 潔	昭55筑二農
埼 玉	奥谷 多作	昭34教大工芸	神 奈 川	大石 進	昭56筑体	香 川	香西 新五	昭59筑体
埼 玉	矢嶋 章司	昭35教大体	神 奈 川	中道 徹	昭58筑二生	愛 媛	星川 志朗	昭61筑修教
埼 玉	細田 幸一	昭50教大独	神 奈 川	塚本 格	平8 筑三社工	高 知	野田 智洋	昭62筑体
埼 玉	平野 正美	昭54筑二比	山 梨	松坂 浩一	昭58筑体	福 岡	稲富 勉	昭61筑体
千 葉	植草 完	昭52教大体	長 野	北村 桂一	昭59筑体	佐 賀	松雪 誉	昭61筑体
千 葉	猿渡 末治	昭55筑一自	長 野	巻山 圭一	昭59筑一人文	長 崎	渡邊 孝経	昭59筑体
千 葉	山崎 成夫	昭56筑体	新 潟	中島 郁雄	昭53筑体	熊 本	赤星 隆弘	昭58筑体
千 葉	小宮山伴与志	平1 筑博体	富 山	福島 英晴	昭57筑三情	大 分	野尻 明敬	昭59筑二人間
東 京	堀川 勝史	昭61筑体	石 川	田井 友章	昭59筑体	宮 崎	児玉 洋一	平2 筑三社工
東 京	井上 芳明	平1 筑体	福 井	平井 喜浩	昭58筑体	鹿 児 島	黒木 哲二	昭62筑二比
東 京	中村 穎司	昭35教大國	静 岡	齊藤 浩幸	昭58筑二農	沖 縄	前門 晃	昭58筑博理

定時総会開催のお知らせと参加のお願い

■ 第9回定時総会

日時：令和2年5月30日(土) 13:30～17:00

会場：茗溪会館(4F 受付) 文京区大塚1-5-23

交通：地下鉄 丸ノ内線 茗荷谷駅から徒歩3分(220m)

有楽町線 護国寺駅から徒歩9分(710m)

都バス 02系統 窪町小学校バス停から徒歩1分



茗荷谷駅方面から見た茗溪会館

第9回定時総会は、新型コロナウイルス感染症に対処し、以下の日程に変更させていただきました。

代議員の皆様におかれましては、ご無理のない範囲でご対応いただければと存じます。

なお、今後の状況により、開催日及び当日の日程変更もございますので、ご了解ください。

変更にあたりましては、改めて案内等を送らせていただきます。

第9回定時総会及びブロック会議の日程(案)

I 定時総会（会場：2F 宴会場）

13:30 開 会

13:45 議 事

(1) 議 案

第1号議案 令和元年度事業報告、決算書類及び監査報告の承認について

第2号議案 令和2年度事業計画(案)及び予算(案)について

第3号議案 役員の選任について

14:15 (2) 報 告

①茗溪創基150年記念事業について

②地域組織等活動の活性化について

③その他

14:30 閉 会

II 理事会、諸連絡

14:30 理事会の開催（4F 会場）

代議員への諸連絡（2F 会場）

14:55 理事長挨拶、理事の紹介

III ブロック会議（会場：2F 会場）

15:00 (1) 今回のブロック会議の趣旨

- ・今回のブロック会議の目的と協議内容の説明

- ・各ブロックの担当理事の紹介

15:15 (2) 基調報告

- ・茗溪・筑波産業人倶楽部の活動について

- ・茗溪関西・教育研究・産業人会議（MKS）の立ち上げまで

15:30 (3) ブロック協議

※懇親会は中止とさせていただきます。

茗溪創基150年について

新しい明治の時代を迎え、明治4年7月18日に、学術・教育を担当する官庁として、東京神田の湯島聖堂内の昌平坂学問所跡に文部省が設置されました。

文部省は、それまでの「学び」といえば多くは巷の「寺子屋」に委ねていたあり方を見直し、近代的な教育制度・学制の導入が必要と考え、明治5年4月22日、特に小学校の教育方法を研究し、且つその教員を養成すべき機関の設置を必要とする旨を議会で提出し、5月13日に承認を得ました。その際の計画では、学生は24人で、小学校生徒は90人としていました。

その結果、「明治5年5月29日、新たに師範学校を東京に設け、本校の創立は実にこの時とされる。」とし、その後、東京教育大学まで、創立記念の日とされており、「茗溪創基150年」の記念日であります。

明治5年8月、入学試験を行い、300名以上の志願者の内54名の入学者を決め、教師には米国人のM・Mスコット、通訳は坪井玄道で、教科書等は米国からの到着を待つて使用し、その図書を翻訳し、校内に編纂局を設け、本校及び全国の師範学校の使用に供したとあります。(明治7年8月をもって、M・Mスコットは任期を終えました。)

その後、師範学校の卒業生の需要増加に伴い本校のみでは足りず大阪・仙台他にも師範学校を設け、その地名を冠して呼ぶこととなり、本校は、明治6年8月に東京師範学校となり、同7年に愛知・広島・長崎及び新潟にも師範学校が開設されました。

また、各府県に於いても公立の師範学校の建設されることもあり、小学校の増設が進むと共に、中等の教育を受けんとするものが増加し、中学校の設立が求められ、明治8年8月、本校に中学師範学科を設置しました。

明治15年4月29日、神田明神の境内、雪月楼において、同窓者19名が相集まり、同窓の親睦と教育の進歩を図る目的をもって、共に茗溪のほとりに螢雪の功を積んだこ

とにちなんで「茗溪会」と名づけ、1月には、その機関雑誌「茗溪会雑誌」1号を発行しました。その後、機関紙は「教育」、「茗溪」と名を替え、現在に至っています。明治19年には、師範学校令により高等師範学校となり、卒業生は、師範学校長及び教員に任ずるとされ、本校での小学校教員の養成は最終とされました。

また、9月には、諸規則を改め服装を洋服とし、衣靴等の形も一定にし、菊花紋章をつけた制帽と定めています。

明治21年9月、付属小学校を付属学校とし、新たに中学校も設けました。

明治33年5月には、茗溪会を法人組織とし、社団法人茗溪会となりました。

明治33年、御茶ノ水では手狭になったため、新校舎の敷地を小石川区大塚窪町に定めました。

新しい敷地は、2万5千坪以上で、旧校地の約4倍の広さとなり、35年9月、先に寄宿舎2棟が落成、翌36年4月に東西2館の校舎が完成し新校舎での授業を開始しました。

明治35年3月、広島に高等師範学校が設置され、東京高等師範学校と改称しました。

明治36年7月、徽章を五三の桐葉形とします。この経緯について諸橋徹次先生は、「教育尊重の意味にして宮内省より特別に允可、但し宮中の五七の葉を避けて、五三の桐と致すとか聞き覚え居り」と述べています。

明治38年7月、大塚敷地内に借地し、39年、木造2階建ての茗溪会館を新築し移転しました。

昭和5年、本会は、大塚町19番地の元陸軍兵器庫あとに565坪の土地を購入します。

昭和8年11月17日、新しい茗溪会館の開館となったのです。(以下は、7ページの表を参考ください)

新しい明治の時代を迎え、新政府は、まず人の育成が大事と考え、「教育」の制度づくりと学校の設立、学校制度を確立することに力を注ぎ、その一番の要として、文部省の設置、教師を育てる師範学校の創設に取り組んだ様子が、本校の歴史からよく読み取れます。

その後の、「宣揚歌」を生んだ、大学昇格運動、東京教

育大学の閉校・新構想大学「筑波大学」の設立と、時代の先駆けの様に变化してきた母校に対し、同窓の集まり「茗溪会」こそが、創基150年を記念し、次世代に歴史と誇りを繋ぐ役目を果たさなければならぬと考えます。令和4年(2022年)に向けて、ご協力よろしくお願ひ申し上げます。

オリンピックを迎える今年、神宮のメインスタジアムより東側・イチヨウ並木の奥に国の重要文化財に指定されている「聖徳記念絵画館」があります。

明治天皇の業績に関するシーンが、80枚の絵画にして展示されております。その内の1枚に、明治23年10月30日、明治天皇が普通教育の源泉たる高等師範学校に御臨幸の上、教育に関する勅語をお渡しただけのことになつていたところ、当日、陛下のお体調が優れず、宮中御座所に於いて、内閣総理大臣山縣有朋・文部大臣芳川顕正に勅語を御下賜され、戻るシーンが描かれています。その様子を絵にしたものが、「茗溪会寄贈」として展示されております。入場は有料ですが、機会がありましたらぜひ、観覧ください。

(茗溪会 常務理事 高野 力)



旧茗溪会館

筑波大学と茗溪会の沿革

2019/2/18 (注) 期間は年度

		茗溪会の沿革	茗溪会理事長	大学の沿革
明治 5	1872			師範学校 (9月湯島旧昌平黉跡に開設) (明治4年文部省設置)
6	1873			東京師範学校
11	1878			体操伝習所
15	1882	4.29 茗溪会創立 16年1月「茗溪会雑誌」1号発行	(会員123名、客員22名) 19名が会合し(神田明神の境内雪月樓)茗溪の上に蜚雪の功を積みしに 因み茗溪会と名付けた	↓
19	1886	19年2月 行軍旅行(銚子方面)		高等師範学校 19年2月 行軍旅行(銚子方面) 19年4月 高師の二字を配した 16辨菊花紋様の徽章を附して制帽
32	1899			東京帝国大学農科大学農業教員養成所
33	1900	5.2 (社)茗溪会 登記 33年3月「教育」(205号)に改題		33年9月 海軍形帽に高師の二字を徽章
35	1902	1906年 茗溪会事務所 新築 (明治39年 高師敷地内 木造2階建) 1912年 楽友舎(宿泊施設) 竣工	(正式就任日は不明) (初代)馬上孝太郎	東京高等師範学校
36	1903			(明治36年大塚窪町に移転) 36年7月 徽章を五三の桐葉形とし高師の二字
大正10	1921		1919年(大正8年)12月 「宣揚歌 桐の葉」発表	文部省図書館員教習所
11	1922			臨時教員養成所
13	1924	(社)茗溪共済会設立		体育研究所
14	1925			図書館講習所
昭和 4	1929			東京文理科大学
8	1933	11.17 茗溪会館 竣工・開館 (土地所有 565坪)		↓
9	1934		②岡本作次郎	東京農業教育専門学校
12	1937	S.12.11.28 嘉納先生寿像除幕式 (作:朝倉文夫)		↓
13	1938		③馬上孝太郎(もうえ こうたろう)	傷痍軍人中等教員養成所
15	1940			↓
16	1941		④田中 寛一	東京高等体育学校
19	1944			東京体育専門学校
20	1945	20年1月号(737号)にて休刊		特設中等教員養成所
22	1947			↓
24	1949	24年7月号「教育」(738号)復刊		東京教育大学
		S.33.11.14 嘉納先生寿像除幕式	(占春園) (S.35.10.28講道館)	↓
34	1959	34年8月号(832号)より「茗溪」と改題	⑤野口源三郎	↓
39	1964			図書館短期大学
40	1965		⑥柴田 周吉	↓
43	1968	5月「東京教育大学後援会」発足		↓
46	1971	2月「筑波新大学資金財団」に改称		↓
48	1973			筑波大学
49	1974	5.31 財団、学生宿舍の管理業務を開始		↓
50	1975	2.25 財団「筑波学都資金財団」に改称		↓
51	1976	8.12 「筑波研修センター」開所		↓
54	1979	(学)茗溪学園 創立・開校		図書館情報大学
58	1983		⑦宮崎 正雄	↓
63	1988		⑧葭内善三郎	↓
平成 1	1989	(H.5.6.18 地鎮祭)		↓
7	1995	H.7.3.7 茗溪会館 落成式 (土地550坪 地下2F・地上5F 但し、388坪は第一生命に賃貸)	⑨足立原茂徳	↓
11	1999		⑩鶴川 昇	↓
12	2000	5.26 (財)茗溪会館・(社)茗溪共済会解散、 (社)茗溪会に吸収		↓
13	2001	大学30周年「茗溪会募金会」		↓
15	2003			↓
16	2004			国立大学法人 筑波大学
17	2005			↓
18	2006			↓
19	2007	H.22.12.10 嘉納先生寿像除幕式(筑波)	⑪西野虎之介	(2010.12.10筑波大学/嘉納先生寿像)
24	2012	4.1 一般社団法人 登記	⑫江田 昌祐	↓
30	2018		2019.1月:「茗溪」1100号	↓
令和 4	2022			(創基150周年)
	2032	茗溪会 150周年		

茗溪創基150年 記念事業実施報告



第96回箱根駅伝の応援風景(小田原三の丸交差点付近)

翌年3月には寄付金振込額が1000万円を超え、同窓の関心の高さが伝わってきました。その後、筑波大学との合同事業という形で本格的にスタートしました。この事業には二人の同窓が深く関わり、人々との交流の輪を広げながら進められました。

海老澤敬子氏(筑二農林S62卒、文京区議)は、教育委員会などの行政機関や自治会、保護者会等との連携に尽力し、落英池のかいほりを成功させました。

西川綾子氏(筑二農林S58卒、水戸市植物公園園長)は、日本造園組合連合会、石積みや竹垣の名人など、有識者や技術者とのネットワークを作り、占春園を見事な日本庭園に再生しました。

事業完了後の完成披露におきまして、整備事業として大学に贈呈され、目録が渡されました。

今後は、茗溪会と筑波大学、そして文京区等によるコンソーシアムにより、良好な環境を持続的に維持していく方向で協議が進められています。

茗溪創基150年記念事業(以下、記念事業と略記)につきましては、茗溪創基150年目にあたる令和4年に向けて諸企画を進めていくという方針が、先の定時総会で示されました。

すでに進められていた占春園再生事業を皮切りに、多くの記念事業が実施されました。今後も新たに企画実施されると思いますが、今年度実施された記念事業を紹介させていただきます。

- 占春園再生事業及び完成披露(6月)
- 茗溪・筑波産業人倶楽部(4回開催)
- 追悼のつどい(9月)
- 学生活動支援事業
 - ・ 学生団体等への活動助成(7月)
 - ・ 応援バルーンの贈呈(12月)
 - ・ 第96回箱根駅伝の応援(1月)

◆ 占春園再生事業及び完成披露

平成29年11月に発足した「占春園再生プロジェクト」は、「同窓会の帰りに占春園に寄ってみたが、立入禁止で中に入れず残念だった」という茗溪会員の問い合わせ(同年10月27日)から始まったといえます。



- ① 占春園の門と扁額
- ② 占春園碑(延享3年造立)と名人の手によって再生した石積み
- ③ 四つ割り竹を並べ、押縁を横に縄で結んだ垣(建仁寺垣)
- ④ 扁額掲示用の揮毫を説明する剣持翔伍氏(筑院芸後期3)
- ⑤ 占春園完成披露式典の様子と挨拶する江田理事長

二つの柱建て——教育界と産業界

茗溪会は明治15年に発足以来、学部・学科あるいは部活動等をも包括する全学同窓会として長い歴史を刻んでいます。その基は教職を共通項とする同窓意識にあったといえます。茗溪会はこのような経緯と実績を踏まえ、創基150年を機に、教育界の柱建てに加えて産業界（官界も含む）で活躍する同窓の集まりをもう一つの柱建てとし、両者融合協和しながら、茗溪会のより一層の発展を目指し、活動を展開していこうと考えています。

◆教育界の柱建て

これまで、教育現場では、先輩、後輩や同期の、いわば縦と横の絆が強固としてあり、互いに叱咤激励、切磋琢磨しあう気風をもとに、わが国の教育界をリードしてきました。この伝統ある実績をもって、今後とも有為の教員を育て支援する態勢を維持する必要があります。

茗溪会では、具体的な行動として、これまでの教職課程講座に加えて、教員採用二次試験対策講座を本格実施することになりました。

受験者の大半を占める東京、埼玉、千葉、茨城、神奈川の各茗溪会が協力して、同じ時期に同じ会場で協力しあって指導助言をする合同開催方式をとりました。会場を筑波大学と茗溪会館とし、模擬授業や集団協議、面接などをプログラムとして実施しましたが、まだ試行段階といえますし、合同開催をメリットとするために工夫を要する課題、例えば、各地域の試験日の違いによる開催日程の設定、試験方法や内容の違いによるプログラムの設定の困難さなどがありました。



神奈川受験者の集団協議の様子(2020.8.1)

受講者の9割が合格という成果を踏まえて、共同開催方式をさらに充実させるために工夫を加えていくことになるでしょう。この合同開催方式は、合格の手ほどきだけでなく、教職に就いた後の交流会や研修会の開催などによるフォロー、教職希望者を対象とした研修会の開催など、実現の必要性も可能性もあるように思えます。

◆産業界の柱建て 各地域組織の試み

教育界の貴重な遺産として伝承されてきた縦と横の連携は今後も強化発展させる一方で、その遺産を産業界にも伝承し新たな場面を創造する動きが各地域で意図されてきました。ここでは、東京と神奈川の試みを紹介させていただきます。

東京茗溪会では、「特に民間企業・官公庁に所属の卒業生を対象に、業界・世代の枠を超えてより幅広く交流し、相互に学習し合う機会として」（第二回案内より抜粋）、平成27（2015）年に、第一回「茗溪・筑波大学産業人会」を開催し、「異業種（企業・官公庁・法曹界・教育界）の方々25名が参加した」と報告しています。さらに、「細くとも長く継続していくことで、（仕事のネタを拾える）（仕事人としての視野が広がる）（人脈が広がる）」といった場としてだんだんと定着させていきたい」と結び、その後、第二水曜日の夜7時から茗溪会館を会場として隔月に開催し、今年2月の開催は第48回を数えています。

神奈川茗溪会では、平成24（2012）年11月に「茗溪を同窓とする若手の幅広い交流」（『茗溪かながわ』創刊号より抜粋）を目指して若手交流会が開催されています。昨年の第九回開催は、「若手交流会」「産業人の会」、それに「新泉組（新採用教員など若手教員の会）」が合流するという形で開催されています。



第1回茗溪・筑波大学産業人会(2015.6.19)



神奈川茗溪会 若手交流会
*つくばエクスプレスの開設に携わった同窓の発表に聞き入る参加者(2019.11.16)

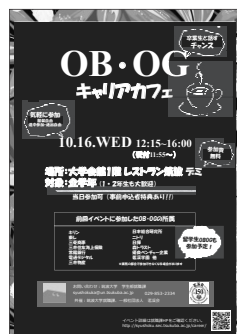
◆産業界の柱建て 茗溪会本部の試み

東京や神奈川など各地域組織の動きと並行して、その試みを参考にしながら、茗溪会本部は「茗溪・筑波産業人倶楽部」を企画しました。その意図は、茗溪創基150年記念のグラントテーマとして「伝承と創造」を掲げ、重要な事業として産官学の大団結の組織建てを目指すというものでした。

その立ち上げは、一昨年の7月でしたから、まだ試行段階とはいえませんが、若手を中心となって積極果敢な取り組みがなされています。

左のチラシは、昨年後期に開かれた「OB・OGキャリアカフェ」と「意見交流会」の案内です。どちらも「茗溪・筑波産業人倶楽部」が企画・運営したものです。「OB・OGキャリアカフェ」は、大学と茗溪会の共催で、同窓の先輩が在学の後輩に、キャリア形成のアドバイス等をする場の提供として企画実施されました。「意見交流会」は、産官学の各界で活躍する同窓の交流を広げる目的で開催されています。参加者は、産業界ばかりでなく、教育界や官界の同窓など多士済々です。

「OB・OGキャリアカフェ」と「意見交流会」という二種類の会合は、縦や横の連携をそれぞれ主眼としながらも、縦から横、横から縦への波及も意図しています。



和やかな相談風景 OB・OGキャリアカフェ(2019.10.16)

◆下表は、茗溪・筑波産業人倶楽部の活動一覧です。これを機にご参加いただいたり、立ち上げや運営等の参考にいただければ幸いです。

◆当倶楽部の企画運営に携わる主な方々を紹介させていただきます。同期や知己であれば、問合せがしやすいかと思えます。

河本 武（同運営委員長、S39教院教）
井口武雄（同運営委参与、S40教大法政）
廣田則夫（同委員S53筑一社）
佐藤順一（同専門委員S56筑一社）
齋藤隆司（同専門委員S56筑二農林）
谷出正直（同専門委員H15筑体）
川田孝一（組織委員長、S39教大総農）

【敬称略、卒修了年、学類・学科等】

◆各地域における産業人倶楽部の立上げや企画運営等のお手伝いをさせていただく窓口として、「全国茗溪・筑波産業人倶楽部支援委員会（委員長 廣田則夫）」を設けましたので、遠慮なくお問い合わせください。



第6回茗溪・筑波産業人倶楽部 意見交流会

① 机なしの野外ステージ形式が定番となりました。

② 参加学生と談笑する理事長

OB・OGキャリアカフェ(2019.10.16)

③ キャリアカフェ終了後のOB・OG懇親会

④ OB・OGと参加学生との集合写真(13:00時点)

回	開催日時				茗溪・筑波産業人倶楽部の開催名と概要	会 場	参加数
	年(西暦)	月	日(曜)	時 間			
1	2018	7	22 日	13:00~17:00	発会式 ・発会式 ・シンポジウム「なぜ今 交流が必要か」 ・懇親会(名刺交換)	茗溪会館 2階 茗溪の間	110
2	2018	12	15 土	13:00~16:30	意見交流会 ・シンポジウム (1)「企業経営をめぐる私の成功例、失敗例に学ぶ」 (2)「筑波大学への貢献について一為すべき母校への貢献を考える」 ・懇親会(名刺交換)	茗溪会館 2階 茗溪の間	80
3	2019	2	16 土	13:00~16:30	意見交流会 ・シンポジウム 「企業は人なり」—教育学的経営と若者の気風にあったアプローチ ・懇親会(名刺交換)	茗溪会館 4F 新泉・筑波の間	60
4	2019	6	14 水	13:00~17:30	先輩と後輩の集い —就活相談会— ・学生が企業人のOB・OGと就活の話しをできる個別相談会 ・企業人OB・OG相互の交流	筑波大学 大学会館ホール	122
5	2019	10	16 水	12:15~16:00	OB・OGキャリアカフェ ・学生が企業人のOB・OGとキャリア形成や就活について気軽に相談できるカフェ形式の場を設定 ・企業人OB・OG相互の交流	筑波大学 大学会館レストラン 筑波デミ	110
6	2019	12	14 土	13:00~17:00	講演とシンポジウム 「会社経営をしてみよう」「社内同窓会」 ・懇親会の2部構成	茗溪会館 4F 新泉・筑波の間	40
7	2019	2	29 土	14:00~18:00	講演とシンポジウム 経営の条件—「カクヤスをささえる5条件」 ・懇親会(名刺交換)	茗溪会館 4F 新泉・筑波の間	—

① MKS立上げを祝し、松本会長にご祝儀を手渡す江田理事長。「本日の立ち上げは、多くの方々が手弁当で頑張ってきたことによるものと思います」と労をねぎらう形で、祝い金が渡されました。

② 松本会長の音頭で乾杯をする参加者

③ 講演「5Gの今と近未来」(塚越寿夫氏 富士通ネットワークソリューション(株))



◆産業界の柱建て——新たな試み
2月、「茗溪関西・教育研究・産業人会議(MKS)」の第一回の会合がありました。産官学の交流を近畿全域で展開する目的で運営していくということです。
東京、神奈川の単一組織による開催、MKSのようなブロック単位の開催もあります。地域の実情に応じた規模や運営があるかと思っています。
定時総会で予定されているブロック会議(P18参照)で、その形態や運営の仕方を検討していただき、MKSなどを先例参考とすることで、各地域における産官学の活発な交流への一押しになればと願っています。

◆追悼のつどい（9月28日）

例年行われている「追悼のつどい」を記念事業として実施し、学生が参列する機会を初めて設けました。故人の在りし日を語るご遺族とひと時を過ごし、茗溪人として、これからの歩みに加えてほしいと願ったからです。

参列した学生は以下のように感想を述べています。

今回初めて追悼のつどいに参加させていただきました。式終了後の懇親会では、ご遺族の方々とお食事の席を共にさせていただきました。ご逝去された方のお話を聞かせていただきました。大先輩方が生前携わられていたお仕事や活動のお話を聞くことで、師範学校から連綿と続く茗溪の歴史を感じ、またそれと同時に自分自身もその流れの中にいる一人なのだという「繋がり」を、お話の中で感じる事ができました。懐かしそうに思い出話に花を咲かせるご遺族の方々の交流の場となった本会は、非常に温かなものでした。（油井原このみ 筑比文4年）

ご列席いただけなかったご遺族からのお便りを紹介させていただきます。時候の挨拶など中略させていただきます。お許しください。

●遠隔のため出席できず失礼致しました。昨日は「追悼のつどい」の冊子と共に遺影や会場の様子の写真までお送り頂き恐縮致しております。故人は卒業後なかなか母校に出かける事もなく、何十年ぶりの茗溪の空気に懐かしく喜んだ事と存じます。（宮城県、故人の奥様）

●お便り頂いた時には是非参加させて頂きたいと思っておりましたのに、上京できなくなつて、ご無礼どうぞお許しくださいませ。会場のお心配り、それを又、私共はまだ複製してお届け下さり、早速仏壇の前に飾らせていただきました。…本人は勿論ですが、家族みんなで恐縮いたしております。（新潟市、故人の奥様）

遠方から参列された方からのお便りもございました。●此度の追悼のつどいには主催者皆様の温かいご配慮がひしひしと感じられて胸が熱くなりました。…久々に上京し、娘宅で休んで参りましたので、御礼状が遅れてしまい失礼いたしました。（花巻市、故人の奥様）



- ① 追悼式場（式場正面に遺影が飾られています）
- ② 遺影に拝礼する江田理事長
- ③ 献花をする学生
- ④ 献花に並ぶ参列者
- ⑤ 懇親会に先立ち、著名なフルート奏者山形由美様（ご遺族として参加）に演奏をしていただきました。

●厳かな中にも真心の感じられる追悼式に参加させていただき…父の学生時代に思いを致すことができ、心に刻まれる一日となりました。（鳥取市、故人のお嬢様）

●素晴らしい方々の礎があり、その上で若き学生さんの活躍があることを感じました。主人もこんな時代があったこと感慨深く（季刊誌を）読ませていただきました。温かい設い、おもてなしに幸を頂けたこと感謝の至でございました。追悼のつどいは忘れられない思い出の一つとなりました。（千曲市、故人の奥様）

●この度、写真と冊子をお送りいただきありがとうございます。出席できなかった同窓生の母にも様子を報告させていただきました。（さいたま市、故人のお嬢様）

●思いもしなかった追悼のつどいにお招きいただき有難うございました。茗溪会の皆さまの優しさに包まれて…よい一日を過ごさせていただきました。

（府中市、故人の奥様）

●追悼のつどいに参加させて頂き、茗溪会の皆様のお心のこもったおもてなし、誠に有難うございました。主人の葬儀では失礼のないようにとの思いで一杯でしたので、二十八日は入り口に入る時から涙でどうする事も出来ませんでした。本日、記念写真と季刊誌茗溪を頂きました。振り返って、主人の一生の原点は御校にあったと思います。（目黒区、故人の奥様）

●盛大な会に出席し、フルートの演奏まで聴くことができ嬉しく思いました。感謝の気持ちで一杯です。かえり上野のお墓に寄りお花を手向け報告して参りました。（宇都宮市、故人の奥様）

（宇都宮市、故人の奥様）

●この度は思いがけなく皆様と一緒に追悼式典に参加させていただきました。有難うございました。本人も大変喜んでいことでしょうか。（千葉市、故人の奥様）

（千葉市、故人の奥様）

●九月追悼のつどいにお招きいただき大変お世話になりました。故人へのねんごろな手向けのお言葉や温かなおもてなし…お気遣いの数々あらためて心から感謝とお礼を申し上げます。ご一緒させていただきました私に温かい飲み物をご配慮下され恐縮致しました。…一五〇年になんなんとする大きな時の流れ、歴史をたずねる想い、高邁な建学の精神などつくづくと思ふ思いでございます。あの日の帰途、占春園にお寄りしましたが、この自然のたたずまいに込められた希いや情熱こそ、どうか永遠にと存じます。（東松山市、故人の奥様）

（東松山市、故人の奥様）

◆学生活動支援事業

・学生活動支援目録贈呈式（8月9日）

学生活動支援事業は、筑波大学の学生団体や個人が取り組んでいる課外活動に対して、計画段階で審査し助成金を支給するものです。

8月2日の午後、阿江通良副理事長（筑院体57修了）を委員長とする選考委員会が開催されました。熱心な協議が行われた結果、予算枠を超える額でしたが、申請のあった団体を全て採択することにしました。

8月9日は、該当団体への助成金決定通知書交付式。その後、会場で茶話会が行われました。

20団体の中に「筑波大学陸上競技部長距離ブロック駅伝チーム」がありました。団体紹介の中で、「再び箱根路を走ってほしいという多くの方々の期待に応えられるようにチーム全員で頑張ります」と抱負が語られていました。このチームは、ここ数年連続で支援を受けており、52名の部員全員が茗溪会に入会済か入会予定者で、入会率の高い団体でした。平成23年に「筑波大学箱根駅伝復活プロジェクト」を立ち上げ、本来あるべき学生競技の姿を示す筑波大学らしい取り組みをめざしていました。

・第96回箱根駅伝応援

10月26日の昼近くに理事長から電話がありました。東京立川で行われた予選会で筑波大学駅伝チームが総合6位となり、26年ぶり61回目の出場権を獲得したというものでした。

昨年、神奈川茗溪会を中心に、学生連合の選抜選手として五区を駆けた相馬崇史君（筑大体3年）の応援をしました。その経験をすぐに活かすことになりました。

11月8日（金）大学では学生部、事業開発推進室、広報部、財務部等が事務レベルの協議をし、茗溪会では、執行部会議が応援・支援に関わる基本姿勢を確認していました。

同月12日（火）神奈川茗溪会幹部と夕刻から会合を持ち、茗溪会本部との連携協力を要請しました。

同月16日（土）理事会で、今回の応援・支援を茗溪創基150年記念事業として位置づけ、組織を同委員会内に設置し、河本武（教院教39修了）委員長の下で態勢づくりを進めていくことが確認され、予算だてが整いました。



- ①② 助成金決定通知書交付式後の茶話会
- ③ 宣揚歌入りスティックバルーン贈呈式
- ④ 同目録を学生に渡す江田理事長
- ⑤ 第96回箱根駅伝応援用スティックバルーン
- ⑥ 助成金決定通知書交付式



同月24日（日）夕刻から、本厚木アミューの会議室に茗溪会事務局主催で、神奈川茗溪会、筑波大学職員、そして陸上競技部OB・OG会、併せて30名ほどが会合を開き、応援態勢づくりの實質的なスタートを切りました。その後の夕食を兼ねた懇親会では、熱い思いがあちこちの席で飛び交っていました。

応援ポイントは陸上競技部OBが往路、復路併せて20か所を指定し、各ポイントに茗溪会会員や陸上競技部OB・OGや学生部員を担当として、大学と茗溪会の職、そしてスティックバルーンを用意することとしました。

12月4日（水）茗溪会事務局から応援の案内を一斉送付。東京と神奈川の会員宛に3000通、陸上競技部OB・OG会は2000通を別途発送しました。さらに、茗溪会、大学広報、陸上競技部OB・OG会は一斉にホームページで応援案内を掲示し参加を促しました。

こうして年が明け、駅伝当日となりました。

私は往路⑧で応援しました。中村伸二氏（教大農S51卒）が高校の同窓に頼んで場所を確保してくれました。通過予定時刻には茗溪会員とその家族など150余人が集まり、神奈川茗溪会の山崎紀彦副会長（教院農53修）の音頭で宣揚歌の練習を繰り返していました。

横浜駅東口③は300余人、茅ヶ崎東海岸⑥は200余人が集まり氣勢を上げているという連絡も入ってきました。後日、各ポイント担当からの報告を集計しますと、往・復路併せて延べ2500人ほどの応援参加者になります。スティックバルーンは、1000セットを用意し、各ポイントに配布しましたが、想定外の人数が集まり、瞬間になくなったようです。（文責 矢野）

・宣揚歌入りのスティックバルーン贈呈

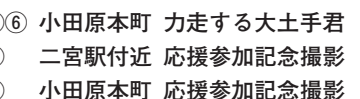
箱根駅伝の応援用に作成したスティックバルーンは学生に好評でした。宣揚歌が刷り込まれていたからです。体育会執行委員長の長谷勇希君（筑体3年）から「他の競技の応援にも宣揚歌入りのスティックバルーンを使用させてほしい」との要請がありました。宣揚歌一番だけいいということだったので、どの競技でも使用できる汎用デザインに変更して、急遽、追加注文しました。

12月18日（水）、大学会館の2階会議室で贈呈式を行いました。新しいバルーンは追加製造が間に合わず、目録だけの贈呈式となりました。

第96回東京箱根間往復大学駅伝競走 筑波大学応援ポイント一覧

往路	地点(km)	通過予定	No.	応援ポイント	アクセス
スタート					
1区	6.00	08:18-08:20	①	港区芝	JR 田町駅 徒歩2分
	15.27	08:44-08:46	②	大田区南蒲田	京急 蒲田駅 徒歩2分
2区	8.32	09:25-09:35	③	横浜市西区高島(横浜駅前)	JR+京急 横浜駅 徒歩5分
	20.00	09:55-10:15	④	横浜市戸塚区上矢部町	JR 戸塚駅 徒歩12分
3区	7.00	10:35-10:45	⑤	藤沢市鶴沼神明	JR+小田急江ノ島線 藤沢駅 徒歩10分(800m)
	14.00	11:05-11:20	⑥	茅ヶ崎市東海岸南	JR 茅ヶ崎駅 徒歩16分(1.28km)
4区	7.15	11:35-11:50	⑦	二宮町二宮(二宮駅前)	JR 二宮駅 徒歩1分
	18.00	12:05-12:20	⑧	小田原市本町2丁目9番地	JR 小田原駅 三の丸交番から1号線を挟んで対角線側
5区	0.35	12:20-12:35	⑨	箱根口IC	国道138号線の風祭交差点からやや箱根寄り
	2.73	12:28-12:45	⑩	箱根町湯本(箱根湯本駅前)	小田急 箱根湯本駅 徒歩1分
ゴール					

往路	地点(km)	通過予定	No.	応援ポイント	アクセス
スタート					
6区	17.79	08:50-09:00	⑪	箱根湯本(箱根湯本駅前)	小田急 箱根湯本駅 徒歩1分
	20.45	08:58-09:15	⑫	箱根口IC	国道138号線の風祭交差点からやや箱根寄り
7区	3.00	09:09-09:25	⑬	小田原市本町2丁目9番地	JR 小田原駅 三の丸交番から1号線を挟んで対角線側
	19.5	10:00-10:25	⑭	佐野材木店(大磯町大磯473)	JR 大磯駅 徒歩5分(420m)
8区	6.00	10:20-10:40	⑮	茅ヶ崎市南湖	JR 茅ヶ崎駅 徒歩16分(1.28km)
	15.00	10:50-11:10	⑯	藤沢市本町	JR+小田急江ノ島線 藤沢駅 徒歩10分(800m)
9区	2.00	11:25-11:45	⑰	横浜市戸塚区矢部町	JR 戸塚駅 徒歩12分
	14.70	12:10-12:20	⑱	横浜市西区高島(横浜駅前)	JR+京急 横浜駅 徒歩5分
10区	6.00	12:55-13:10	⑲	大田区蒲田	京急 蒲田駅 徒歩2分
	16.61	13:15-13:30	⑳	港区芝	JR 田町駅 徒歩2分
ゴール					



- ① 大手町交差点 バルーンをかざす
- ② 田町駅付近 翻る茗溪の幟
- ③④ 横浜駅東口付近の応援風景
- ⑤⑥ 小田原本町 力走する大土手君
- ⑦ 二宮駅付近 応援参加記念撮影
- ⑧ 小田原本町 応援参加記念撮影

各県の寄付者数
2020/3/25現在

北海道・東北	北海道	9
	青森	1
	岩手	7
	秋田	4
	宮城	4
関東甲信越	山形	3
	福島	4
	茨城	70
	栃木	9
	群馬	12
	埼玉	33
	千葉	33
	東京	122
	神奈川	113
	山梨	7
北陸・東海	新潟	8
	長野	11
	富山	5
	石川	2
	福井	2
	愛知	19
	岐阜	4
	三重	3
	静岡	14
	京都	5
近畿	大阪	12
	兵庫	12
	奈良	3
	和歌山	2
	岡山	1
中国・四国	広島	4
	鳥取	1
	山口	1
	香川	5
	徳島	4
	愛媛	4
	福岡	3
	佐賀	3
	長崎	1
	大分	1
九州・沖縄	熊本	2
	宮崎	2
	鹿児島	1
	沖縄	2
	合計	568

* 1名以上の地域を表記

茗溪創基150年 記念基金のこと

◎寄付申込額 8,945,000円
◎寄付申込者 568名
・平均寄付額 15,749円
(2020/3/25現在)

●寄付の募集期間は？

令和元年から茗溪創基150年目の年(令和4年)まで。4年間と考えております。

●寄付の申込みは一回きりですか？

何回でもできます。また、期間は4年間ですから、どの時点からでも申し込みいただけます。事務局は、ご寄付の名寄せ台帳を作成し管理しておりますので、複数回のご寄付でも、毎回のご寄付が一定額でなくても、累積額として登録されますので、ご安心ください。

●申込み用紙を紛失したのですが？

ご請求いただければ、送付させていただきます。毎号の季刊誌送付時に申込み用紙を同封させていただいておりますので、ご利用ください。また「茗溪会ホームページ」からダウンロードできます。

●申込み手続きと寄付支払いとの関連がわからない

支払いに、現金渡し、振込み、引落し、払込み、カード払いがありますが、事故回避の観点から、ゆうちょ銀行と銀行口座への振込み方法を採用しています。

それでも、氏名漏れや姓だけのものがあり、寄付者の特定が困難となります。折角の寄付です。このような都合を回避すべく、事前に申込用紙をいただいております。趣旨ご理解の上、申込用紙には、氏名、住所、電話、メールアドレスを必ずご記入願います。

●茗溪会への寄付の趣旨がよくわからないのですが？

次頁に「茗溪・筑波フアンド」の説明をさせていただきます。ご覧おください。また、下段に、直近の寄付事業とその実績を紹介させていただきます。

◆筑波センターから筑波大学循環バス(右回り)に乗りして大学会館前を下車すると、ガラス張りの瀟洒な建物が見えます。茗溪創基131年(筑波開学30年)の寄付事業として平成15年に建設された総合交流会館で、筑波大HPには以下のように紹介されています。



「国際交流、国内交流、地域交流、同窓交流、学内交流という5つの交流に資するため、大学会館とその周辺の既存施設や環境も取り込みながら、大学と社会を結ぶ表玄関となる魅力的なゾーン形成を目指しています」

茗溪会筑波事務所は、この建物内にあります。

◆占春園大学側の入口を抜け坂道を右にしばらく下ると落英池の南東側に出ます。そこに真新しい碑が立っています。

占春園再生の記念碑で、「茗溪創基150年記念」という碑銘の下に氏名が刻まれています。占春園再生プロジェクトにご寄付を頂き刻字を快諾された方々です。プロジェクト立ち上げから二か月で、目標額を超える寄付が集まりました。



茗溪・筑波FUND

—— 伝承と創造 その実現をめざして ——

明治5年、東京お茶の水昌平覺跡に創設されたわが国初の高等教育機関師範学校にわが先輩たちが集ったのが、茗溪の創基とされています。

私たち茗溪人は、その築かれた足跡を次の時代に伝えと共になんたな発展をすべき使命があります。ここに、茗溪創基150年記念事業を展開するに当り、基金を設立して意義ある記念事業の実現を希求するものであります。

理事長 江田昌佑

茗溪・筑波ファンド(基金)について

○趣旨

東京高等師範学校の創成期において、嘉納治五郎先生は23年の永きに亘り高等師範学校の校長として、日本の教育者のあるべき姿と世界との結びつきの大切さを示されました。そしてこの度、茗溪会は、創基150年という記念すべき時を迎えるに当り、先生の矜持ともいえる「精力善用」「自他共栄」の精神の一端を担うことを目指し、基金を設立するものです。

○内容

- ① 基金の原資は、茗溪創基150年記念寄付金とします。
- ② 基金の単年度予算額を400万円程度とします。
- ③ 基金の基本姿勢を「新たな挑戦への助成」とし、対象を少数に絞り込み、手厚い支援を展開します。
- ④ 申請者は、スポーツ、学業、社会貢献などの領域で挑戦する茗溪会員(学生、OB・OG)とします。
- ⑤ 選考は、学生等の意見を取り入れながら実施します。

○具体例(あくまでも仮想上の事例です)

☆筑波大学駅伝復活プロジェクトの推進

学生競技の意義を問い直し、「スカラースリット」(高い競技能力と倫理観、高い教養と知的探求心をもって自身の能力開発を進め、将来的にはその経験を活かして社会に貢献できる人材)を育成するプログラムを展開したい。

☆アスリート食堂の営業

スポーツ栄養学に基づくメニューを提供する食堂を開業し、筑波大学、つくば市など産官学連携プロジェクトとして運営したい。地産地消、一汁一飯三主菜、摂取したカロリーや栄養内容を表示したレシートの提供などにより、運動部学生ばかりでなく一般学生や地元住民の方々にも栄養バランスのある食を広めたい。

☆「茗溪みらい塾」の設立と運営

「伝承と創造―茗溪人とはなにか」を共通テーマとして、学生・社会人の自己研鑽の場を提供し運営する。具体的に、古民家再生合宿、古典等の自主講座、ヒマラヤ登山(訓練・計画立案を含む)等を有機的に連動させ、有為な人材を育成するプログラムを展開したい。

☆「茗溪の風」の設立と運営

学生による茗溪会活動を主眼とし、活動拠点を学内におき、以下のような活動をしたい。

- ・地域総会等への学生参加、地域組織との共同事業を企画実施することで、学生と地域同窓との絆を深める。
- ・海外の卒業生を訪問し連携することで、海外の茗溪会活動の手助けをし、その様子を紹介する。
- ・同窓間、同窓と大学との継続的な関係構築のあり方を追求することを目的に、各国の大学を訪問する。

◆ご寄付をいただいた方へのお礼

・記念誌の贈呈

累計3万円以上のご寄付をいただいた方には、茗溪創基150年記念事業で編纂が進められております『茗溪創基一五〇年記念誌』(仮称)の贈呈を予定しております。

・スティックバルーンの贈呈

今年、寄付の申し込みをされた方には、第96回箱根駅伝の応援で使用したスティックバルーン一式を返礼送付させていただきます。送付時の大きさはポケットティッシュ(下の写真)ほどの大きさです。



Peer Garden

交流広場

茗溪創基150年記念事業

同じ大学を卒業したということだけでは、
つながりを強く感じられないと思います
ふたつ目の理由が必要かと思うのですが
それが“茗溪”なんじゃないですか？
ある学生の発言より

●産業界や職域の同窓組織、会合、諸活動

NO	同窓組織、会合、諸活動	開催年月日	開催場所	参加数	掲載号
35	東京都研究懇談会(東京都教育管理職)	2008/12/13	茗溪会館	50	1061
36	東京芙蓉会(東京都校長副校長の会)				1072
37	茗溪マスコミ会				1075
38	林華章学長の就任祝いの集まり(国立台湾体育運動大学)	2013/ 8 /09	水源餐館(台北)	12	1079
39	茨城県庁茗溪会(茨城県庁内同窓会)				1082
40	常陽茗溪会(常陽銀行内同窓会)				1082
41	茨城茗溪数学部会				1082
42	茨城茗溪体育・OB会				1082
43	茨城茗溪地歴公民部会				1082
44	茨城茗溪理科部会				1082
45	茗溪・筑波大学産業人会(東京茗溪会)	第3水曜日	茗溪会館	30程度	1089
46	木三会(東京都の小中高校の管理職、文科省、教育委員会関係者とそのOBで構成)	2016/ 2 /14	茗溪会館	54	1089
47	愛語会(愛知県国語科・英語科)				1093
48	地歴・公民の会(愛知県地歴・公民科)				1093
49	理科・農業科の会(愛知県理科・農業科)				1093
50	茗数会(愛知県高校数学教員)				1093
51	茗友会(愛知県保健体育教員)				1093
52	博報堂OB茗溪会(博報堂茗溪会が母体)	2017/ 3 /30	神田錦町テラススクエアビル		1094
53	茨城茗溪会地歴公民部会	2017/ 8 /26	ホテルレイクビュー水戸	25	1096
54	筑波みらいの会(学生と企業人の交流)		筑波大学		1097
55	茗溪経済クラブ				1097
56	茗数会(静岡県高校数学教員)	2017/11/25	マイホテル竜宮	14	1097

* 今回も、季刊誌『茗溪』(1061-1100号、平成20-30年)の「桐の葉のつどい」などに掲載されたものを一覧にしています。

* 季刊誌掲載号の順に紹介させていただきました。



No. 38



No. 46



No. 56



No. 53

ピアガーデン 心象

茗溪創基150年記念事業として、季刊誌『茗溪』誌上やホームページ上で同窓の交流を図る企画を進めています。

単に「同じ大学を卒業したということ」だけではなく、ふたつ目のつながりとして、情報を交換しあい、活用しあい、支えあい、刺激しあう、そういった交流を深め広めてきた。これが「茗溪の絆」であったはずで

茗溪創基150年を迎えるにあたり、そのことを改めて思い返し、今後とも茗溪の縁を大切にしていきたい。さて、当頁では、「同じ職域や企業

内の交流、あるいは産業人の集まり」を紹介いたします。

ひと昔前は、ピアホールやピアガーデンが盛んで、仕事帰りに同窓と待ち合わせて、「やあー」に始まり、愚痴をこぼしたり励ましあったり、仕事上で助けあったり、新規の事業や同好の会をとくに立ち上げたり、そういったきっかけとなる場でもありました。たぶん、限られた個々の場面では、そういった付き合いも健在かと思えます。

教職では、教科や科目、管理職の会合が目立ちます。

産業界では、「茗溪経済クラブ」「筑波みらいの会」「茗溪・筑波大学産業人会」は注目に値しますし、企業内同窓会も増えつつあるようです。その動きもお伝えしたいと思います。

●学部、学群等の同窓組織、会合、諸活動

NO	同窓組織、会合、諸活動	開催年月日	開催場所	参加数	掲載号
57	桐芽会(東京高師・体育S26卒)	2008/9/30	観光旅館石金(長良川右岸)	10	1061
58	三三会(東教大文学部日本史専攻S33入学)	2008/11/29	成城クラブ	9	1061
59	筑波大学体育専門学群一期生(S53卒)	2009/1/24	オークラフロンティアホテルつくば	80	1061
60	東京高師第文科四部同期会(S23卒)	2008/9/25	茗溪会館	17	1061
61	桐守会(福島県在住のS24卒高師の会)	2009/5/9	いわき市 正月荘	5	1062
62	よぶの会(東教大理学研究科修士課程物理専攻S39修了)	2009/4/8	水口ホテル鴈外荘(東京・上野)	8	1062
63	体専四期会昭和23年卒	2009/4/6	東京山の上ホテル	13	1062
64	物理59会(東教大理学部物理学科S43卒) 卒後50周年記念クラス会	2009/4/27	つくば市 ホテル松島	12	1062
65	茗友(24文4)高師卒業60周年の集い	2009/3/15	茗溪会館占春の間	12	1062
66	筑波大学第1学群社会学類4回生同窓会(S56卒)	2009/7/26	オークラフロンティアホテルつくば	43	1063
67	東京教育大学文学部国語学国文学専攻同期会(S39卒)	2008/11/16	伊豆湯ヶ野温泉 福田家	11	1063
68	家永由美子さん退職祝賀会(文部省図書館員教習所S39卒)	2009/5/2	広池学園会員会館(柏市)	10	1063
69	筑波大学医療技術短期大学部看護学科一回生同窓会(S57卒)	2009/7/4	ホテルグランド東雲(つくば市)	59	1064
70	東京教育大学農学部林学科同期会(S30入学)	2009/10/21	ホテルサンミ俱樂部(熱海市)	6	1064
71	高師理四の会(S22~27卒)	2009/10/10	茗溪会館	18	1064
72	東京高等師範昭和18年会(S18入学)	2010/4/24	茗溪会館 地下グリル	13	1066
73	やまあらし会(東教大理学部地質学鉱物学専攻S35卒)	2010/4/11	京王プラザホテル蒼樹庵(新宿)	9	1066
74	東京高等師範文四卒クラス会(S26卒)	2010/4/22	茗溪会館	14	1066
75	茗泉会(東京高師理科一部数学S16入学)	2010/5/20	茗溪会館	9	1066
76	筑波大学人文3期入学者第6回懇親会	2010/7/17	川崎グランドホテル	26	1067
77	東京教育大学農学部総合農学科(S35卒)叙勲者祝賀会	2010/1/16	茗溪会館	14	1067
78	東京高等師範80回生体育科の集い(S27卒)	2010/6/3	新潟県湯沢市 グランドホテル	8	1067
79	駒場晩鐘会(農教養成所S26卒)	2010/10/20	アルカディア市ヶ谷(私学会館)	14	1068
80	東京教育大学体育学部同期会(S35卒) 50周年記念大会	2010/10/24	茗溪会館	54	1068
81	東京教育大学農学部総合農学科同期会(S33卒)	2010/10/17	スパテオ小淵沢(山梨)	22	1068
82	東京教育大学文学部英語学英米文学科(S35卒) 卒後50周年の集い	2010/10/25	隅田川屋形船	20	1068
83	東京教育大学地理学専攻同期会(S35卒) 卒後50周年の集い	2010/10/6	修善寺温泉 桂川(伊豆)	17	1068
84	東京教育大学理学部数学科同期会(S31卒)	2010/10/19	銀座「中納言」	15	1068
85	東京教育大学理学部生物学科(S31卒) 喜寿記念クラス会	2010/10/10	茗溪会館	15	1068
86	東京高師文一の会(S26卒) 第12回	2010/10/10	茗溪会館	5	1068
87	東京高等師範理科一部(数学科)同窓会(S25卒)	2010/10/29	茗溪会館	9	1068

※今回紹介させていただいた以外に、同窓組織や会合、諸活動などをご存じでしたら、以下にお知らせください。

E-mail address : peer@meikei.or.jp

※ご紹介の会合で、不正確であったり、追記を要する個所があるかと思います。修正させていただきますのでご指摘ください。

※また、組織や会合や諸活動などが連絡を取り合って、運営等のヒントにしたり、共同で開催することもあるかもしれません。その窓口にも上記アドレスをご活用ください。



No. 59



No. 62



No. 64

このコーナーでは、今後とも、多種多様な情報を発信していく予定です。国内外の同窓組織や会合、諸活動等の紹介の他に、同窓が経営する企業や運営する事業等、各方面で活躍する同窓の紹介なども企画中です。

様々な活動の企画・運営や新規立ち上げのヒントに加え、合同開催などの橋渡しの場として活用いただけるかと思えます。

学部・学群等の同窓会は多く、夏号、秋号まで紹介が続きます。どうぞお楽しみ下さい。

(組織委員会調査担当)

☎050-3337313525(予約)

また、茗溪会館で会合を持たれる方も多く見受けられます。茗溪会員は割引がございいます。同窓会などで茗溪会館をご利用の際は、その旨を「嘉ノ雅 茗溪館(かのびめいけいかん)」にお申し出ください。

「茗泉会」…東京高等師範学校理科一部数学(昭和16年入学)の会合は、今回紹介させていただいた中で最年長の方々の会合でしょうか。他方、「筑波大学第一学群社会学類四回生同窓会」は、今回紹介の中で一番若手の会合のようです。

前者と後者の間に40年以上の時の流れがあり、東京高等師範学校、東京教育大学など、変遷を経てきた大学名が並んでいます。これもまた、茗溪会ならではの景観かと思えます。

茗溪・東西南北

北海道茗溪会活動報告

北海道では、毎年5月に総会及び懇親会、1月に新年懇親会を開催しています。昨年5月11日（土）の総会には30名が出席し、前年度の会務及び決算報告、会員動向の確認、予算及び事業計画の審議、役員改選などを行い、その後、懇親会で親睦を深めました。また、1月11日（土）の新年懇親会には37名が出席し、新会員の紹介などもしました。このほかの本会の取組について紹介します。

○毎年12月に北海道茗溪会だより「茗溪」を発行しています。会長や副会長などからの寄稿、茗溪会定期総会の報告、会員の活動状況の寄稿、叙勲や表彰された会員の紹介、役員改選や会計報告など、4頁で構成されており、長年にわた

り続けています。

○本道の義務教育及び高校教育において、管理職や行政職のなり手が不足していることから、若手や中堅教員の資質・能力の向上を図るなど、後継者の育成が喫緊の課題として挙げられています。

こうしたことから、本道教育の発展に貢献できる人材育成のため、本会主催で教育講演会と研修会をそれぞれ隔年で開催しています。

教育講演会は会員のほか、幅広い分野で活躍されている方々に講師をお願いしており、これまでの豊富な経験と高い見識に基づいた講演をいただいています。参加者は会員に限らず、広く呼びかけ参加していただいています。平成11年に始まり、これまで10回開催しています。

また、研修会は会員の教育関係者を対象に、管理職の養成や

若手及び中堅教員の資質・向上などを目的に開催しています。会員で高校の校長や行政職の経験のある方を講師として、教育の動向に関する講演や学校経営の実践に関する提言、参加者による研究協議を行っています。平成3年に始まり、これまでに11回開催しています。今後も継続して実施していきたいと考えています。

○北海道茗溪会の活動の活性化を図るため、平成30年度から「同窓会活動を活性化するための支援」事業を実施しています。会員が企画する交流会等に助成しており、30年度は剣道部のOB会である北海道茗友会の交流会に支援しています（写真）。また、30年9月に起きた北海道胆振東部地震で災害にあった学校への支援も行っています。今後も、会員が関わる交流会等に支援し、活動の活性化を図っていきたいと考えています。

（北海道茗溪会会長 川口 淳）

令和元年度 福島県茗溪会総会

令和最初の総会を、令和元年7月6日（土）午後3時30分から、福島市のホテル辰巳屋で、県内各地から昨年来上回る26名のご出席をいただき、総会・講演会・懇親会を開催しました。

総会では、平成30年度の庶務報告、決算報告、役員改選および規約改正を行い、令和元年度の新体制が発足しました。

今回の役員改選では、新会長に、筑波大学卒業の初めての会長として、4期生の大沼博文氏が就任し、福島県茗溪会も新たな出発をすることになりました。また、規約改正では、少しでも多くの会員に総会に出席してほしいという願いから、会費の値下げを提案し承認されました。

講演は、昭和31年に教育大を卒業された大先輩である星一彰先生から「心のふるさとを求めて」という演題でお話をいただきました。御自身の著書「教師四代」の内容を中心に、ライフワークとして取り組んでいる環境保護活動などを織り交ぜた、興味深い講演でした。



懇親会が始まると、いつものように昔話や近況を語り合い、すぐに打ち解け一気に盛り上がりました。締めくくりは全員で宣揚歌を歌い、盛会のうちに総会を閉じることができました。今回初めて参加いただいた方には、ぜひ次回も参加していただき、また楽しい時間を過ごしてほしいと思います。

本県茗溪会の最大の課題は、9年前の東日本大震災と原発事故の発生により、以前のような活動が困難となり、各支部の活動が休止に追い込まれるとともに、総会への出席者数が大幅に減少してしまったことです。

また、筑波大学卒業生の多くが、一般企業に就職していることから、今までの教育関係者を中心とした同窓会から、様々な職種の方々にも参加していただき、お互いに刺激を受け合う同窓会へ変化することも大切だと考えています。

このようなことから、2月には諸先輩方を含め知りうる限りの同窓生に、7月に開催する令和2年度の総会出席を呼びかける案内を送付しました。次の総会には、多くの会員の皆様に参加していただき、茗溪の輪が広がっていくことを期待しています。

3月末からNHKの朝ドラ「エール」がスタートしました。主人公のモデルは、「栄冠は君に輝く」（全国高等学校野球選手権大会の歌）や「長崎の鐘」「イヨマンテの夜」などの有名な歌謡曲を世に送り出した、福島出身の古閑裕而氏です。

また、復興五輪といわれる今回の東京オリンピックの聖火リレーは、原発事故の対応拠点だったJヴィレッジを3月26日にスタートして、全国各地を巡り、国立競技場を目指しています。

このような福島発の明るい話題とともに、福島県茗溪会も、今まで以上に絆を深め、令和の時代にふさわしい同窓会になるよう、工夫を重ねていきたいと思っています。

（福島県茗溪会副支部長 伊豆幸男）



令和元年度 茗溪会賞 (大学院修了者) 受賞者 (順不同)

2020.2.21

研 究 科	課 程	専 攻	氏 名	活動の名称
教育研究科	修士課程	スクールリーダーシップ開発専攻	岩川光一郎	「インプロ」の運営実施によるファシリテーション活動の充実
	修士課程	教科教育専攻	川端 慧	つくばエネルギー教育研究会
	修士課程	教育学(国際教育)修士プログラム	岡村 拳	東京都足立区における経済的に困難な子どもを対象とした学習支援活動
ビジネス科学研究科	専門職学位課程	国際経営プロフェッショナル専攻	松浦 花	過疎化が進む地方都市へ外国人観光客を誘致する為の新しいビジネスモデルの構築
数 理 物 質 科学研究科	博士後期課程	物性・分子工学専攻	江口 直人	児童への理科教育啓蒙活動
	博士前期課程	数学専攻	江頭 健斗	Tsukuba Workshop for Young Mathematicians2020 の学生共同世話人としての社会貢献
	博士前期課程	数学専攻	橋本 紘史	Tsukuba Workshop for Young Mathematicians2020 の学生共同世話人としての社会貢献
シ ス テ ム 情 報 工 学 研 究 科	博士前期課程	社会工学専攻	徳武 雅也	再生可能エネルギー、低炭素まちづくりに関する研究とその社会的実践
	博士前期課程	社会工学専攻	佐々木健佑	自治体における保健指導の施策力に応じた最適な保健指導モデルを提示できるAIの開発研究における貢献
	博士前期課程	リスク工学専攻	韓 旭	奥入瀬溪流の観光モビリティ・マネジメントへの貢献
	博士前期課程	知能機能システム専攻	伊藤弘一郎	VR消防シミュレーションシステムの開発とつくば市防災活動への貢献
	博士後期課程	知能機能システム専攻	味藤未沅来	①博士学生会・②IEEE TOWERSワークショップ運営を通じた学生・学術交流推進活動
	博士前期課程	構造エネルギー工学専攻	岸田まりな	水防災教育への貢献
生 命 環 境 科学研究科	博士前期課程	地球科学専攻	平澤 賢剛	国際交流活動の推進
	博士前期課程	生物資源科学専攻	坂田 七海	ベトナム国家農業大学の教員および学生へのアウトリーチ活動
	博士前期課程	生物資源科学専攻	相馬 隆光	JST ERATO野村集団微生物制御プロジェクトにおける広報活動の推進
	博士後期課程	国際地縁技術開発科学専攻	神宮 翔真	身近な生物のデータ収集における市民協力の推進と市民の自然環境保全への理解の推進
	博士後期課程	生物機能科学専攻	権 哲源	生命科学を通じた国際的な育成活動への貢献
人 間 総 合 科学研究科	修士課程	スポーツ健康システム・マネジメント専攻	清水 典人	(公財)荒川区芸術文化振興財団主催「すぐCOCOアート!!」芸術でつながる街づくり推進活動
	博士後期課程	心理学専攻	広瀬 拓海	パフォーマンス心理学に基づく東京都足立区における貧困の子ども支援活動
	博士前期課程	障害科学専攻	西川めぐみ	国際交流・留学生支援活動への貢献
	博士前期課程	生涯発達専攻	佐久間桃子	障害のある当事者としての社会福祉系大学生とリハビリテーション専門職への啓発活動
	博士後期課程	生涯発達科学専攻	佐々木美恵	福島県福島市での幼稚園教諭への支援
	博士前期課程	体育学専攻	根岸祐太郎	消防隊員のエネルギー不足を改善する支援活動
	博士前期課程	芸術専攻	那須 若葉	横浜トリエンナーレサポーター事務局インターンとしてのボランティア支援活動
	博士後期課程	芸術専攻	栗原 広佑	東日本大震災復興支援活動ならびに日本生気象学会大会での研究発表
	博士前期課程	世界遺産専攻	脇園 大史	富岡製糸場世界遺産キッズプログラムの企画及び実施
	3年制博士課程	ヒューマン・ケア科学専攻	岡本るみ子	東日本大震災被災地における顔の体操によるメンタルヘルス向上のためのボランティア
図 書 館 情 報 メディア研究科	博士前期課程	図書館情報メディア専攻	田寺 琢人	高専筑波大学連携事業への貢献
グ ロー バ ル 教 育 院	一貫制博士課程	エンパワーメント情報学プログラム	佐野 祐士	①学位プログラムの広報への貢献、②若手研究者のつながり支援を目的とした分野横断型ワークショップの運営、③学術的なボランティア活動

令和元年度 茗溪会賞 (芸術部門) 受賞者一覧 (順不同)

2020.2.21

所 属	領 域	氏 名	備 考
芸 術 専 門 学 群	彫塑コース	玉置 晨作	作品：彫塑「手」
	環境デザイン	水畑日南子	論文：「大分県津久見市におけるみかん小屋の分布と建築的特性」
人間総合科学研究科 博士前期課程芸術専攻	洋画(版画)	戴 飴霏	作品：版画「途中にいる」

筑波大学は今

陸上競技部駅伝チームが26年ぶりの箱根路

第96回東京箱根間往復大学駅伝競走が2020年1月2日～3日に開催され、26年振りに出場した筑波大学は、総合11時間16分13秒（往路…5時間37分53秒／復路…5時間38分20秒）の20位でした。

1区の西研入選手（体育専門学群3年）が11位と健闘して良いスタートを切りましたが、高速レースに対応できず徐々に順位を落としてしまいました。しかし、本学の学生たちは、精一杯に走り、笑顔で襷を繋いでくれました。厳しい戦いの中でも、桐の葉を胸に、伝統の黄色い襷を肩にかけ、唯一の国立大として夢の舞台で走るこ

とができたことは、学生たちにとってはかけがえのない経験となり、卒業生にとっても母校を応援できる幸せな時間だったと思います。

2校が大会新記録で、シード権獲得となる10位の記録が初めて11時間を切るというレースレベルは過去最高で、箱根駅伝の高速化が一気に進んでいることを示すものです。本学が箱根駅伝に連続出場すること、今後

も茨の道であることに変わりありません。引き続き、ご支援と応援を賜りますようお願い申し上げます。



結果報告会で永田恭介学長から労いと激励を受ける駅伝チーム

第9回 異文化交流会「Mochi-Tsuki & Japanese Calligraphy Ceremony」

1月24日、スチューデント・commonsにて、グローバルcommons機構主催による「Mochi-Tsuki & Japanese Calligraphy Ceremony」を開催しました。これは、外国人教職員とその家族を中心に、日本人教職員や学生も交えて、日本文化の紹介を通じて相互交流を深めるために企画しているものです。会場には日本の伝統的な餅つき道具である杵と臼が用意され、ベテランによる説明を受けながら、周囲から声援が飛び交う中、留学生たちが興味津々な様子で餅つきにチャレンジしました。また、書初め体験も行われ、初めて使う筆の動きに驚きつつ、思い思いの作品を書き上げました。体験後は、誇らしげに作品を披露しあい、会場はさらに熱気に包まれました。



筑波大学新聞が最優秀賞

「第9回大学新聞コンテスト」（関東学生新聞連盟など主催、朝日新聞社など特別後援）の一般新聞部門で、筑波大学新聞が最優秀賞の「朝日新聞社賞」を受賞しました。併せて記事賞と連載賞も同時受賞しました。朝日新聞社賞の受賞は4年ぶり2回目、記事賞と連載賞の同時受賞は初めてとなります。

コンテストには記事賞、連載賞、コラム賞の3部門があり、これらを総合評価し、最も優れた大学新聞に



朝日新聞社賞が贈られます。記事賞となった「大学生と薬物乱用」は、文部科学省や税関、薬物依存者の支援団体などに薬物乱用の実態を取材した特集記事です。多くの専門家に取材し、分かりやすい文章と写真でまとめた点が評価されました。連載賞に輝いた「Think LGBT+」は性的少数者を取り巻く社会の現状や課題、本学の取り組みなどを追った連載記事で、2018年7月から継続して報じています。

「大学の世界展開力強化事業」中南米等との大学間交流形成支援事業 令和元年度「成果報告会」及び「外部評価・インターンシップ合同委員会」を実施

1月23日、文部科学省による平成27年度「大学の世界展開力強化事業」中南米等との大学間交流形成支援事業における本学採択プログラム「持続的な社会の安全・安心に貢献するトランスパシフィック協働人材育成プログラム」の成果報告会を開催しました。プログラムの最終年度となる本年は、本プログラムにおける5年間の取組みとその成果を広く共有することを趣旨として、これまでの事業展開の報告及び派遣・受入学生からの成果発表を行いました。

当日は、本プログラムの外部評価委員会及びインターンシップ委員会委員としてお招きした外部有識者の方々をはじめ、国内の同じく中南米地域を中心にした学生交流プログラムを運営している大学関係者や学内教職員、そして中南米諸国に留学経験のある、または留学に関心のある本学学生が出席しました。

今後本学は、我が国と中南米地域を結ぶ架け橋となる人材育成に引き続き努めるとともに、交流促進に取組んでまいります。



成果報告会の様子

大西 寛	大谷 久子	大谷 宜生	太田 宏嗣	大下 専一	大澤 太	海老原 玲子	江田 昌佑	氏原 悦子	上村 雅彦	上松 豊	岩村 雅朗	岩崎 信明	岩木川 雅司	岩井 尚龍	今村 厚子	稲岡 純史	伊藤 紘美	伊藤 静夫	一ノ瀬 忠雄	一井 真二	板持 頼好	井田 洋一	伊集院 光慶	石川 尚子	石井 みさ	池嶋 聖也	飯塚 正	雨宮 誠	阿部 りか	安達 充芳	足立 信也	浅沼 道成	青田 雅樹	青木 俊輔	阿江 通良	相澤 鎮夫											
佐伯 宗明	西東 秋男	斎藤 興哉	佐野 智子	近藤 茂	小林 伸行	小林 明子	小早川 健次郎	後藤 栄一郎	古崎 輝也	合田 浩之	小池 一郎	小畔 東	黒田 和生	國吉 哲郎	國谷 俊之	北尾 岳夫	岸本 吉浩	川本 太郎	河鍋 鷲	川田 孝一	神島 達郎	金子 十美代	金澤 宏	門脇 厚司	門永 敏樹	勝又 宏	片岡 博	掛川 赴夫	加賀谷 薫	小野 喬	小野 清子	女屋 博昭	小内 稔	長田 裕	尾崎 秀男	大西 義人											
鳥谷部 国男	遠間 春彦	照井 貴子	寺西 和子	土崎 祐一郎	陳 謙臣	千田 捷熙	田中 良和	立山 隆治	武井 崔良	武井 治郎	高野 だいわ	高田 善明	高田 雅博	高岡 正幸	寸田 恭子	鈴木 基史	鈴木 摩紀	鈴木 泰全	鈴木 哲夫	鈴木 英全	須郷 栄司	定村 孝	島谷 弘幸	島崎 裕之	渋谷 俊浩	柴田 恵美子	重田 親志	塩見 博彦	塩津 真	佐藤 千春	佐藤 忍	佐藤 悦郎	笹川 和輝	佐久間 秀人	阪本 孝男	五月女 武治											
水野 民男	松本 修	松田 浩	松田 和典	松岡 栄治	升山 義弘	真砂 芳夫	正木 隆	本田 保喜	北條 明美	藤井 英嘉	福本 昇	福田 由紀	平山 昇	日比野 文一	原田 拓二	早川 尚子	秦 恵美子	長谷川 伸之	橋本 浩一	野村 良和	野々村 博	野中 不二男	野口 道子	仁尾 武博	奈良 隆	中山 芳典	中山 慶一	中村 理恵	中村 優哉	中野 秀人	永澤 正好	中崎 省吾	長坂 邦彦	中川 雅史	永井 吉人	内藤 郁芳											
																(五十音順・敬称略)										宮嶋 孝也	宮本 義久	森野 光昭	森元 光保	森脇 博信	八代 勉	山浦 正孝	山神 眞一	山口 松太郎	山下 直信	山達 六夫	山本 敬三	山本 卓	横山 潔	横山 茂樹	横山 健太郎	吉尾 健太郎	若林 一民	脇坂 高峰	渡辺 和男	渡辺 隆明	渡辺 満孝

『茗溪フェロー』ご協力のお願い

茗溪会が新法人としてさらに発展・進化していくために、東京教育大学等前身諸学校から筑波大学にわたる多様な世代を結び、教育界だけでなく広く実業界に活躍する卒業生との地域・職域をこえた連携を強化することを目的として、会費完納会員を対象として創設された「茗溪フェロー」は、これまでに多数の方からのご協力をいただきました。

誠にありがとうございました。

完納会員の皆さまには、35年間にわたり茗溪会へのご支援をいただき、これまで本会を支えていただきましたことは、誠に感謝に堪えません。

茗溪会は筑波大学や在学生、さらに新しい卒業生に、一層の支援をすることは勿論ですが、本会の老・壮・青の力を集めて大きく発展することを期しています。そのためにも、皆さまには本年度もご協力をお願い申し上げます。

「茗溪フェロー」の募集要項

既に会費を完納した会員の皆さまに呼びかけて「茗溪フェロー」として、皆さまからの寄付をしていただき、今後の茗溪会の運営に寄与していただくことを目的といたします。

- 1 寄付金 1口 2,000円／年間
- 2 支払い方法 口数の選択 1口以上
郵便局窓口またはATMから送金してください。
会員番号は必ず記入してください。
(お送りした封筒の宛名に記載してある8桁の番号)
クレジットカードでのお支払いもできます。詳細は事務局までお問い合わせください。
- 3 季刊誌『茗溪』誌上にお名前を掲載いたします。
- 4 納入口数に応じて、記念品を贈呈しております。

◆コギトの会(昭和41年・1966年卒：東京教育大心理学科)

と き 2019年11月9日(土)

ところ 俺のフレンチ神楽坂

デカルトの「我思う、故に我あり (Cogito ergo sum)」から名づけられたコギトの会。2年に一度くらい集まっているが、とうとう皆、喜寿を迎えた。美味しいものを食べようと、安くて美味い「俺のフレンチ」で会食した10人、殆ど余すこともなく元気に完食。コギトの「我思う」ではなく「我食う会」であった。

(幹事：植田朋子、高橋 誠)



◆神奈川「茗溪12月会」

と き 令和元年12月8日(日)

ところ 「景德鎮」横浜中華街

毎年12月に開催している会です。神奈川県内の高校、特別支援学校、行政機関で管理職や総括教諭、指導主事等の職にある人に声をかけ集まっています。今年は25名が参加、近況を語るとともに貴重な情報交換の場にもなりました。最後に母校の箱根駅伝26年ぶり出場を祝い、宣揚歌「桐の葉」を歌いエールを送りました。

(文責：大石 進(S56筑体) 写真：添野龍雄(S57筑二農林))



◆筑波大学バレーボール部OBOG会

「令和元年度 筑波大学女子バレーボール部

全日本インカレ優勝祝賀会」

と き 令和2年2月15日(土)

ところ 嘉ノ雅茗溪館

筑波大学バレーボール部は12月に行われた『全日本インカレ』(第72回秩父宮賜杯・第66回秩父宮妃賜杯 全日本大学バレーボール選手権大会)で、男女とも決勝に進出しました。男子は残念ながら準優勝となりましたが、女子は見事優勝。2連覇を達成しました。女子の2連覇の偉業を祝い、OBOG会では昨年度に引き続き祝賀会を行いました。

全日本大学バレーボール連盟の高野理事長はじめ、Vリーグの関係の皆様、選手の出身高校の先生や保護者の皆様など、多くの方々のご臨席をいただき、約100名の盛大な会となりました。来賓の方々からは3連覇に向けての激励の声も聞かれ、選手及び監督、スタッフは、新たな目標を持ちました。3連覇はもちろん、来年度はぜひアベック優勝を期待したいと思います。(文責：柳久美子)



「桐の葉のつどい」の掲載について

以下の要領で写真と原稿をお寄せください。

(写真) フィルムカメラ、デジタルカメラのいずれかで撮影したものでも結構です。紙焼きでも、デジタルカメラの場合はデータをメールでお寄せいただいても結構です。

(文章) グループの名称、お集まりになった「とき」「ところ」を別項にして、必ずお書き下さい。会の模様を紹介する文章は31文字×5行以内。

茗溪学園だより

創立40周年記念式典挙行される

本誌前号でご紹介いたしました、昭和54年4月開校の本校は、令和元年度に創立40年を迎え、2月22日、記念式典を挙行いたしました。

式典には、ご来賓として小野寺俊英茨城県副知事、五十嵐立青つくば市長、江田昌佑茗溪会理事長のご臨席を賜り、ご祝辞を頂戴しました。

会場のアゴラホールは、30周年記念事業で計画したホール（最大三百人収容）で、3年前に竣工したアゴラ棟2階に設置したものでした。

功労者表彰では、創立時に前職を退職してまで、茗溪学園学寮内に家族と共に転居し、生徒（寮生）と起居を共にして、茗溪学園の教育プログラムを創り上げてくださった教職員の皆様に対し、中川理事長より感謝状が贈呈されました。開校当初の教職員は19名（教員15事務4）、転職は11名、新卒が8名でした。既に他界した方6名、80歳代3名、70歳代後半3名、60歳代6名という年齢構成となりました。今回の表彰者は、初年度より35年間理事を務めてくださった堀内昭三様を含めて7名の方々でした（式典ご出席者は4名）。他に、生徒による研究発表や国際バカロレア課程の紹介発表などが行われ、無事終了しました。



江田茗溪会理事長はご祝辞で初代岡本稔校長と草創の教職員の功績を称えた



創立功労者に感謝状贈呈

部活動など結果報告 (12月～2月)

◎**高校ラグビー部**：第99回全国大会・2回戦敗退。高3の大越選手が高校日本代表に選出された。関東新人大会4位、第21回全国選抜大会出場(中止)。

◎**中学ラグビー部**：第39回東日本大会・4年連続19回目の優勝。第25回全国ジュニアラグビー大会4位。

◎**高校剣道部・男子**：全国選抜大会出場(中止)。

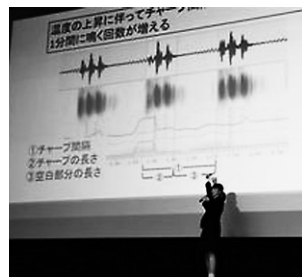
◎**中学バドミントン部**：5名が県選抜チームの選手として全日本中学バドミントン大会出場(中止)

◎**高校バドミントン部**：男子団体・関東選抜大会初優勝、全国選抜大会出場(中止)。(3月末開催の上記ラグビー、剣道、バドミントンの全国選抜大会は、新型コロナ拡大予防のため中止となる)

◎**美術部**：第64回全日本学生美術展全日本学生美術会賞(団体最高賞31回目の受賞)、個人賞は推奨2名・特選8名・佳作18名。旺文社主催第63回全国学芸サイエンスコンクール絵画部門・銅賞1名・入選5名。

◎**書道部**：全国総文祭県代表(8月高知県開催)、大東文化大学主催全国書道展・大賞は多数。茨城新聞紙上展・茨城県書道美術振興会長賞・優秀賞9名・奨励賞多数。奈良県主催日本書展・特選。

◎**第23回図書館を使った調べる学習コンクール**：調べる学習部門優良賞1名(高2)。



口頭発表：研究テーマは「コオロギの鳴き声は数式で示せるのか」



ポスター発表：説明を聞いているのは高校1年生。来年の発表に向けて、自分の研究の参考にしようと聞き回る

個人課題研究発表会(後援・筑波大学)

2月21日、表記発表会及び令和元年度SSH活動報告会が筑波大学・大学会館を会場に開催されました。個人課題研究は、創立以来の取り組みですが、発表会を筑波大学のご協力をいただいて開催するようになって今回が12回目となりました。

オープニングセレモニーでは、筑波大学副学長清水論先生から、ご祝辞を頂戴しました。生徒からは、SSHプログラム・タイ海外研修の報告(英語発表)が行われました。

個人課題研究は、高校1年の後期から始まり、高校2年6月に中間発表会(全員ポスター発表)、9月末論文提出、12月口頭発表会(全員)が行われ、総合評価の高かった研究がこの発表会となります。この日、口頭28名、ポスター30名が発表者となりました。他に、科学部(物理班、化学班、生物班、個人研究で

新校舎「スコラ棟」竣工

8研究)、SSHプログラム(屋久島、タイ、上海での調査活動や研修など3研究)、IBDPの活動紹介、SDGs活動報告(石巻絆プロジェクト、足尾巡検など2件)、計14のポスター発表がありました。

クロージング(全体会)では、本校SSH担当教員から今年度の活動報告を行いました。締めくくりに、本校SSH運営指導員でもある筑波大学副学長佐藤忍先生からご講評をいただきました。



「スコラ棟」玄関口：左(北側)は中学棟、南側は高校棟とアゴラ棟、東側は高校管理棟に囲まれた立地となっている

令和元年度計画として建設していた新校舎が、3月に竣工しました。1階建て、床面積は604㎡、「スコラ棟」と名付けられました。新校舎には、普通教室の1.5倍サイズの書道室と技術室、普通教室の半分サイズの小教室4室、トイレが作られました。合わせて、高校校舎1階の特別教室と小教室を改修して、普通教室2室を作る工事を行いました。これにより、高校棟にホームルーム教室を3室増やして、令和元年度より高校を1学級増とした対応が完了しました。さらに、少人数授業展開に備えて小教室も3室増やしました。

追 悼 録 (敬称略)

藤本 克巳	13理三16大動 神奈川	1・12・11 四女	藤本 淑子
太田耕次郎	18理三 岡山	1・12・16 長男	太田 成文
四ノ宮 晟	20大心 千葉	1・11・19 二男	四ノ宮 啓
森川 茂昂	20理一 和歌山	1・11・17 長男	森川 陽介
佐々木庄一	22臨物象 宮城	30・8・22 孫	佐々木義洋
手嶋 昇	23体専 東京	1・6・30 妻	手嶋喜美子
平島 明	24理三 神奈川	2・1・6 妻	平島 都子
根岸 博	25理三 埼玉	2・2・29 長男	根岸 正
岡本 昭二	25農教 東京	2・1・11 長女	尾崎 敦子
高橋 實	26大教 埼玉	2・1・31 二女	松村由美子
永峰 薫	26理一 千葉	2・1・24 長男	永峰浩一郎
芝崎 茂夫	26理二 千葉	1・11・28 二男	芝崎 雅人
新 一郎	26体 東京	2・3・8 妻	新 徳子
川本 崇雄	27大英 東京	2・2・8 長男	川本 太郎
櫻井 弘木	28大哲 東京	1・11・21 長男	櫻井 知久
石垣 春夫	28教大数30院修教 東京	2・1・2 長男	石垣 秀樹
武田 良実	28教大農経 長野	30・5・1 妻	武田 生子
小林 晴雄	29教大芸 東京	30・4・8 長男	小林 辰郎
田崎 常之	29教大地 福島	1・12・6 長男	田崎今日児

逝去会員氏名・卒年科・逝去年月日・ 地域・続き柄・遺族氏名

池之上昭義	30教大数 群馬	2・1・2 妻	池之上美砂子
鶴岡 陽一	31教大言 大分	1・12・11 妻	鶴岡 康子
秋葉 安茂	31教大地 東京	31・4・5 長女	阿久津桂子
重野 孝介	31教大総農 長崎	1・11・9 妻	重野美佐子
吉田 豊治	31教大体 千葉	1・8・9 妻	吉田 好江
山本 忠男	32教大体 千葉	1・11・16 妻	山本 祥江
永井 實	33教大健 東京	2・1・4 子	中島さゆり
中村 安伸	34教大工芸 大阪	1・6・18 妻	中村 弘子
高井 武	35教大体 徳島	1・7・22 妻	高井 祥子
寺田 正義	36教大英 東京	1・6・21 妻	寺田 紀子
澤田 衛	36教大数40院修教 山梨	1・5・20 長男	澤田 完
小川 博久	37院修教44院博教 東京	1・9・18 妻	小川 清美
牛島 倫子	37教大書39教大 東京	30・9・22 長女	大野 彰子
河内 弘明	37教大農教 東京	2・1・18 妻	河内たい子
屋久 孝夫	38教大特教 東京	2・1・29 長男	屋久 哲夫
浅林 勝行	40教大英 富山	30・8・12 長男	浅林純一郎
高柳 淳	61筑二生63筑修環 大阪	1・12・12 妻	高柳 智子
池田剣志郎	04筑一自 東京	1・10・8 母	池田 正子



Service Safety Sincerity
あなたのそばに。セキショウグループ。

SEKISHO

Energy for your Life

当社は「一般財団法人 関彰育英会」を通して、筑波大学
大学院博士後期課程の院生に、研究支援として奨学金の
支給を行っております。



関彰商事株式会社

代表取締役社長 関 正 樹 (学校法人 若溪学園理事)

つくば本部 / 茨城県つくば市二の宮 1-23-6 TEL 029-860-5151

若溪会担当: 取締役常務執行役員 岡本 俊一
(昭和56年 第一学群 社会学類 卒業)

<http://www.sekisho.co.jp/>



安全に、快適に、正確に

大曾根タクシー株式会社

代表取締役 塚本 育子

☆お迎え料金無料

☆カード利用 OK!

☆貸切バス事業者より

安全性評価認定(★★★)されました



〒300-3261 茨城県つくば市花畑3丁目19-4

TEL 029-864-0301

FAX 029-864-4727

メールアドレス <http://www.taxi.e-tsukuba.jp>

フリーダイヤル 0120-000-302

各営業所に通じます

令和元年秋の叙勲

おめでとうございます(追記 敬称略)

瑞宝中綬章

寺中 平治 39院修哲

松田 克治 31教大健

(埼玉)
(長野)

瑞宝小綬章

篠田 秀児 41教大総農 43院修農

(長野)

瑞宝小綬章(追贈)

川本 崇雄 27大英

(東京)

高齢者叙勲 瑞宝小綬章(9月)

小泉 周雄 32教大健

(神奈川)

※本欄は、各地域からの調査報告により掲載しております。もし記載もれがある場合は、事務局までお知らせください。

訂正

前号(令和2年正月号)で誤りがありましたのでお詫びして訂正いたします。

・P3 「新年のご挨拶」下段5行目

(正) 昨年来

(誤) 昨年末

・P10 「OB・OGキャリアカフェ」写真キャプション

(正) 矢野正人事務局長

(誤) 天野正人事務局長

広報

「筑波大学新聞」4月号を同封します

「筑波大学新聞」4月号を今年も同封致します。4月号には筑波大学への新入生の情報が掲載されており、会員の皆様から好評をいただいております。その他、筑波大学の様子も詳しく掲載されておりますので、ご活用ください。

卒業予定学生の就職活動にご支援を

来春卒業予定の筑波大学生のために、諸先輩のご指導ご支援をお願い致します。

「問い合わせ・連絡先」筑波大学学生部就職課

企業・団体関係 電話 029-853-6001

教員・公務員関係 電話 029-853-2249

▽会合の中止

去る2月29日に予定されていましたが茗溪穆談会及び茗溪・筑波産業人倶楽部は、昨今の新型コロナウイルスの影響により中止となりました。

表紙の言葉

茗溪会事務局

茗溪創基150年記念事業の一つとして「占春園再生プロジェクト」が一昨年から昨年度にかけて実施されました。

表紙の写真は、本号の特集に因んで、占春園に建つ嘉納治五郎像と、再生プロジェクトご協力者の記念碑です。

占春園は立木が多く、再生プロジェクトの一環として立木の伐採なども行われました。それでも嘉納治五郎像に日光が射すのは一瞬で、事務局から占春園まで足しげく通い撮りました。撮影時期は2020年3月下旬で、周りでは桜も満開ですが、この写真には写っていないのが残念です。

編集後記

本号の編集を始めた頃は、社会状況(世界状況)がこのようなになるとは想像だにしませんでした。事務局も通勤による新型コロナウイルスの感染の危険を軽減するため、2月下旬から出勤・退勤時間をずらすなどの対応をしています。

今後、この状況がどのように展開していくかは見えてきませんが、各種会合がことごとく中止せざるを得ない中で、茗溪会の運営をどのように推し進めていくかが、当面の課題となっています。

本号が会員皆様のお手元に届く頃には、多少なりとも明るい展望が持てるようになっていよう願っています。

お願い

・正確な会員情報把握のために、住所、勤務先の変更はすぐにご連絡ください。
・年会費のお振込みは、早めにお願いたします。

令和2年4月15日発行

発行 一般社団法人 茗溪会

茗溪会事務局・大塚事務所

112-0012 東京都文京区大塚一五二三

TEL 03-3941-0136

FAX 03-3941-7674

E-mail info@meikei.or.jp

URL http://www.meikei.or.jp

郵便振替記号番号 0015-0114-977

筑波事務所

305-8577 つくば市天王台一

筑波大学・大学会館内

TEL 029-850-0044

FAX 029-850-0045

E-mail tsujimu@meikei.or.jp

印刷 東京都文京区関口一三九一〇

山浦印刷株式会社

予 告

公開講座

(1) 東京地区

講 師…未 定
日 時…未 定
場 所…未 定

(2) つくば地区

講 師…「英語シリーズ」第19弾
講 師…藤原保明 先生
日 程…2020年6月 予定
場 所…未 定

追悼のついで

日 時…2020年9月5日(土)
場 所…茗溪会館

教職二次試験対策研修会(予定)

日 時…2020年8月9日(土)

2020年8月10日(日)
〈埼玉〉

場 所…茗溪会館

〈神奈川・東京〉

日 程…2020年8月9日(土)

2020年8月10日(日)

〈茨城・千葉〉

場 所…筑波大学 大学会館

詳細は茗溪会ホームページに掲載。



株式会社 阿部兄弟建築事務所
平成28年度東京ワークライフバランス認定企業

<http://abeoffice.co.jp>



〒101-0032

東京都千代田区岩本町1-3-9 高木ビル

代表取締役 荒井 豊人(昭和57筑基工)

TEL 03-3866-4181 FAX 03-3866-4120

経営・労務・年金etc. コンサルタント

福岡経営労務事務所

〒125-0042 葛飾区金町3-27-3

TEL 03(3607)0551 FAX 03(3607)0551

所 長 福岡 一雄 (32教大法政)
社会保険労務士



株式会社 十和観光

代表取締役 井坂 信洋

URL <http://www.juwa.com> E-mail: travel@juwa.com
〒300-2451 茨城県つくばみらい市箕輪254
TEL 0297(52)1221 FAX 0297(52)1220



株式会社 岩手チキン工房

— みんなに笑顔をお届けします。 —

代表取締役 田中 修 (昭54筑農林)
社 長

〒028-3309 岩手県紫波郡紫波町北日詰字城内85-1
TEL : 019(676)4121 FAX : 019(676)4464
<http://www.i-c-koubou.co.jp>

スポーツ&起業家&企業人「つくばウェイ」

TSUKUBA WAY プロジェクト

～茗溪・筑波OB・OGの活躍を集約!!～

<http://tsukubaway.com/>

株式会社 KTAJ

代表取締役 藤田 文武 (体育専門学郡
2004年卒)



Future X Communications

FXC株式会社 <https://www.fxc.jp/>

当社は光通信機器やイーサネットスイッチ等のネットワーク機器を開発・製造し、各地の公立高校始め、官公庁、企業等に多数納入実績がございます。

創業者:代表取締役社長執行役員 谷輪 重之(93筑修経営)

印刷・製本までトータルに対応

株式会社 ケエスアイ

東京営業所 〒102-0072 東京都千代田区飯田橋2-3-1
東京フジビル502号室

TEL 03-5357-1668 FAX 03-5357-1669



株式会社 長谷工 コーポレーション

〒105-8507 東京都港区芝2丁目32番1号

電話 03(3456)5478

取締役常務執行役員 植岡 祥之(昭57筑社工)

つくばでの宿泊・研修にー

ご家族で、お仲間で

最大収容180名、お一人3,800円から

茗溪会員とご家族に割引あり

研修セミナー・サークル発表会・各種会議・学習合宿・部活動合宿に

シングル145室ツイン5室和室5室／研修室2室(120・40名)

和室も研修室として利用可(20畳、10畳)

館内食堂にて朝・昼・夕食可(要予約)

アクセス

秋葉原駅からつくばエクスプレスで45分「つくば駅」下車

●バス／「筑波大学循環」3つ目「筑波メディカルセンター前」下車

徒歩8分●つくば駅からタクシー／5分

一般財団法人筑波学都資金財団

筑波研修センター

〒305-0005 茨城県つくば市天久保1-13-5

TEL 029-851-5152 / FAX 029-851-8886

<http://www.meikei.or.jp/~center> e-mail: center@meikei.or.jp





Restaurant & Cafe
ランチ・カフェ・ディナー

“嘉ノ雅” 茗溪館
KANOBi MEIKEIKAN
Wedding
結婚式・結納

Party & Meeting
宴会・同窓会・会議



嘉ノ雅 茗溪館
館内 MAP

筑波大学生・卒業生・関係者の皆様だけに贈る

ご優待特典

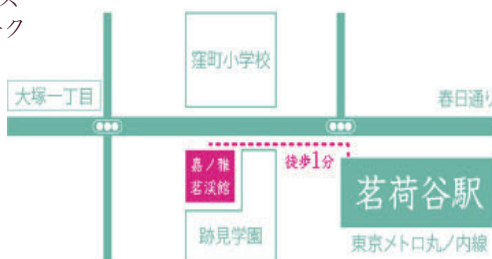
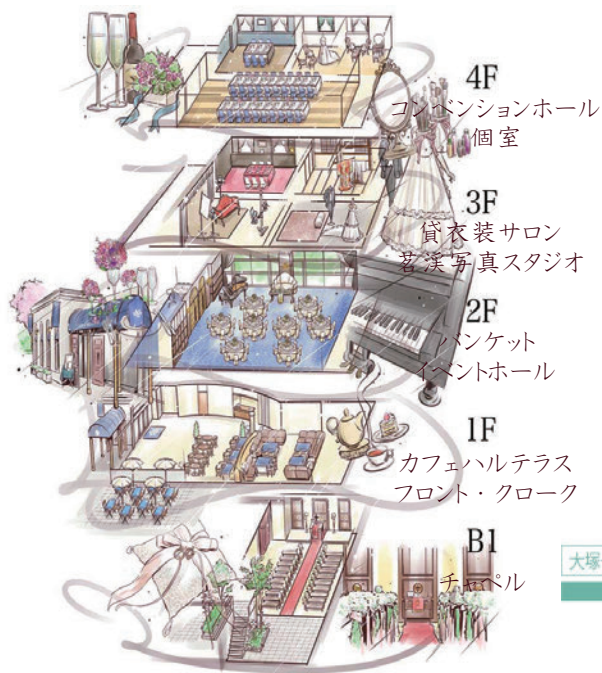
ご婚礼 費用総額より5%OFF

お食事 飲食合計より10%OFF

※ご家族様、ご親族様もご利用可。
※カフェでのご利用は対象外。

池袋駅から約 5 分・東京駅から約 10 分。

東京メトロ丸ノ内線「茗荷谷」駅から徒歩約 1 分。



“嘉ノ雅” 茗溪館
KANOBi MEIKEIKAN

TEL: 03-5319-1890

〒112-0012 東京都文京区大塚 1-5-23
HP: <http://www.kanobi-meikeikan.com/wedding.html>

問い合わせメールアドレス: info@kanobi-meikeikan.com
営業時間: 11:00 ~ 20:00 (第二火曜日定休)

▼HP▼LINE友達募集中▼



ID:@enc2843s

幸せを築く 結婚への出会い。

キューピッドは“新家族提案業”、円満な家庭を築く人との出会いです。

1～30周年の結婚カップルの幸せメッセージを凝縮した
エピソード集から、その真実を確信できます。



真実だから、伝わる。実話だから、共感できる。

3,000通を超えるメッセージから、
珠玉の実話を厳選。

ご入会の方へ
プレゼント中

キューピッドクラブ

検索

毎週届くご結婚カップルの真実の言葉。

●ご婚約カップルに接したスタッフブログも更新中。

キューピッドの 結婚



キューピッドクラブは慶應義塾大学OB間の親睦パーティから、1980年S・U・L・Cの名称で設立以来40年。

■パンフレット「The Cupid Style」をお気軽にご請求ください。

☎ 0120-0333-82

■入会資格

結婚を誠実にお考えの独身の方

●男性 25～45歳、定職におつきの方。●女性 20～40歳

※入会に際して審査があります。



結婚を誠実に考える人の会員制クラブ
Cupid Club

〒104-0061 東京都中央区銀座4-2-11ヒューリック銀座数寄屋橋ビル7F 03-5524-3555 公式ホームページ www.cupid.co.jp

広告を募集しています。

事務局までご相談ください。

一般社団法人 茗 溪 会

〒112-0012

東京都文京区大塚1丁目5番23号

電 話 03(3941)0136

F A X 03(3941)7674

eメール info@meikei.or.jp

ホームページ http://www.meikei.or.jp

東京ビジネスホテル 茗溪会東京宿泊所

茗溪会会員割引料金(税サ込)

(ただし、オリンピック期間など除外期間あり)

シングルB(バス・トイレ別) ￥4,500～￥6,700

シングルA(バス・トイレ付) ￥5,700～￥9,000

ツイン(バス・トイレ付) ￥8,000～￥14,500

朝食バイキング ￥1,200→￥840

大浴場時間 : 6:30～9:00 17:00～01:00



東京都新宿区新宿6-3-2

TEL 03(3356)4605

FAX 03(3356)4606



地下鉄丸ノ内線 新宿御苑前駅 1番出口
都営新宿線 新宿三丁目駅 C7出口
地下鉄副都心線 新宿三丁目駅 E2出口
JR新宿駅より車5分 } より徒歩7分



桜美林大学

J. F. Oberlin University

リベラルアーツ学群 / 健康福祉学群
ビジネスマネジメント学群 / 芸術文化学群
グローバル・コミュニケーション学群
航空・マネジメント学群(2020年4月開設)

桜美林学園 理事長・学園長 佐藤 東洋士
学長 畑山 浩昭
入学部相談役 川田 孝一(昭39教大総農)

【お問合せ先】

〒194-0294 東京都町田市常盤町 3758

桜美林大学インフォメーションセンター

Tel.042-797-1583 E-mail:info-ctr@obirin.ac.jp



ENERGY SAVING SYSTEM FOR

YOU

熱エネルギーの有効利用



Osaka
Technocrat

株式会社 大阪テクノクラート

http://www.osaka-techno.com

TEL: 03-5256-8261

Meikei-
Making
the
Difference



Meikei
High School

茗溪学園中学校高等学校

* 茗溪学園は 1979 年に茗溪会の百周年記念事業で生まれた学校です

- ◆寮のある学校です
海外からの外国人留学生も生活しています
- ◆国際バカロレア IBDP 課程認定校です
- ◆文部科学省 SSH・SGH アソシエイト認定校です
- ◆「知識」「体験」「考え方」
——とことん学び身につけます
- ◆部活動が盛んな文武両道の学校です

2020 年度公開行事

5月 9日(土) オープンキャンパス

6月 6日(土)・7日(日)

桐創祭(文化祭)

6月27日(土) 帰国生向け学園説明会

7月11日(土) 高校受験生向け学園説明会



アクセス つくばエクスプレスTX つくば駅A3A4出口 バスターミナル4番のりば「ひたち野うしく行」バス、
「環境研究所」下車徒歩5分 または JRひたち野うしく駅 東口バス乗り場「つくばセンター行」
e-mail kouhou@meikei.ac.jp (見学等) entry@meikei.ac.jp (入試等)